

令和4年度

事業報告書

事業報告の附属明細書

自：令和4年4月1日

至：令和5年3月31日



社会福祉法人

伊勢崎市社会福祉協議会

<目次>

□総務企画課	1
1. 法人運営、財務・人事管理等会務の運営	
2. 苦情解決体制の整備	
3. 会費他自主財源の確保	
4. 連絡調整、調査・研究事業、広報活動の実施	
5. 総合企画関連事業の実施	
6. その他の事業・業務	
□地域福祉推進課	5
1. 地域福祉推進事業	
2. 地域共生社会の実現に向けた地域づくりの推進	
3. 相談事業の開催	
4. 権利擁護体制の充実	
5. 生活困窮者への支援	
6. 社会参加・生活支援充実	
7. 関係団体等への支援	
8. 各支所との連絡調整	
9. 共同募金会への協力	
10. 戦没者等追悼式の執行	
11. その他の地域福祉推進	
◇ボランティア・市民活動センター	19
◇障害者相談支援センター	23
◇赤堀支所	25
1. 地域福祉活動の推進事業	
2. 赤堀地区社会福祉協議会	
◇あずま支所	27
1. 地域福祉活動の推進事業	
2. あずま地区社会福祉協議会	

◇境支所	29
1. 地域福祉活動の推進事業	
2. 境地区社会福祉協議会	
□在宅福祉課	32
1. 介護保険事業の経営	
2. 障害者福祉サービス事業の実施	
3. その他在宅福祉サービスへの対応等	
□施設管理課	44
1. 指定管理施設の管理運営	
2. 社会福祉会館の管理	

注記：事業報告の附属明細書につきましては、事業報告と一体として作成しています。

□総務企画課

1. 法人運営、財務・人事管理等会務の運営

○理事会

- ・第1回 令和4年6月7日（火） 場所：社会福祉会館4階第1会議室
 - （1）議案第1号 令和3年度事業報告書及び事業報告の附属明細書の承認について
 - （2）議案第2号 令和3年度計算関係書類及び財産目録の承認について
 - （3）議案第3号 理事の候補者について
 - （4）議案第4号 監事の候補者について
 - （5）議案第5号 評議員候補者の推薦について
 - （6）議案第6号 令和4年度第1回評議員会について

- ・第2回 令和4年7月26日（火） 場所：社会福祉会館4階第1会議室
 - （1）議案第7号 副会長の選定について
 - （2）議案第8号 令和4年度資金収支予算の補正について
 - （3）議案第9号 表彰等対象者の審査及び決定について

- ・第3回 令和4年9月27日（火） 場所：社会福祉会館4階第1会議室
 - （1）議案第10号 令和4年度資金収支予算の補正について

- ・第4回 令和4年12月23日（金） 場所：社会福祉会館4階第1会議室
 - （1）議案第11号 令和4年度資金収支予算の補正について
 - （2）議案第12号 評議員候補者の推薦について

- ・第5回 令和5年3月7日（火） 場所：社会福祉会館4階第1会議室
 - （1）議案第13号 令和4年度資金収支予算の補正について
 - （2）議案第14号 令和5年度事業計画（案）について
 - （3）議案第15号 令和5年度資金収支予算（案）について
 - （4）議案第16号 理事の候補者について
 - （5）議案第17号 令和4年度第2回評議員会について
 - （6）議案第18号 役員等賠償責任保険契約について
 - （7）議案第19号 指定管理者の指定申請について

○評議員会

- ・第1回 令和4年6月23日（木） 場所：社会福祉会館4階第1会議室
 - （1）議案第1号 令和3年度事業報告書及び事業報告の附属明細書の承認について
 - （2）議案第2号 令和3年度計算書類及び財産目録の承認について
 - （3）議案第3号 理事の選任について
 - （4）議案第4号 監事の選任について

- ・第2回 令和5年3月24日（金） 場所：社会福祉会館4階第1会議室
 - （1）議案第5号 令和5年度事業計画（案）の承認について
 - （2）議案第6号 令和5年度資金収支予算（案）の承認について
 - （3）議案第7号 理事の選任について

2. 苦情解決体制の整備

福祉サービスに係る利用者からの苦情を解決する体制を整備し、利用者の権利を擁護すること、また、利用者が本会の福祉サービスを適切に利用できるよう支援することを目的としています。

情報公開第三者委員会については、情報公開規程における開示申出者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するために設けられています。

苦情解決に関する第三者委員及び情報公開第三者委員は各3人です。

（1）苦情解決に関する第三者委員・情報公開に関する第三者委員 第1回合同会議

日 時：令和4年12月20日（火）

場 所：社会福祉会館 4階第1会議室

○苦情解決に関する第三者委員会

- ・令和3年12月～令和4年11月現在までの苦情等解決状況報告
- ・意見交換ほか

○情報公開に関する第三者委員会

- ・状況報告
- ・その他

3. 会費他自主財源の確保

本会の運営は、会員である住民、団体等の会費でまかなわれており、様々な福祉活動を展開するための財源の確保として、会員より一般会費、賛助会費、特別会費を納めていただいています。

(1) 一般会費

本会の目的に賛同し、市内に住所を有する世帯より会費を納めていただきました。

<年額1世帯あたり 400 円>

	世帯数（世帯）		納入額（円）	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
合 計	77,157	75,854	30,862,900	30,341,580

(2) 賛助会費

本会の目的に賛同する福祉団体等の賛助会員より会費を納めていただきました。

<年額1口1,000 円>

納入件数		納入口数		納入額（円）	
令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
110	110	273	270	273,000	270,000

(3) 特別会費

本会の目的に賛同する会社、団体等の特別会員より会費を納めていただきました。

<年額1口5,000 円>

納入件数		納入口数		納入額（円）	
令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
56	54	73	91	369,516	454,230

4. 連絡調整、調査・研究事業、広報活動の実施

(1) 広報紙「社協いせさき かがやき」の発行

地域福祉の推進と啓発を目的に、本会の各種事業や募集等の情報を掲載した広報紙を発行しました。A4カラー4ページの広報紙を、7月・11月・3月の年3回にわたって、市内全戸及び社協会員並びに関係機関に配布しました。

(2) ホームページの管理運営

事業計画及び報告並びに計算書類等の公開の他、各種事業等の募集及び職員求人等について市民等に広く情報発信する為に、本会ホームページの適切な管理運営を実施しました。

5. 総合企画関連事業の実施

(1) 伊勢崎市社会福祉大会の実施

地域福祉のより一層の推進を目指すとともに、永年にわたり社会福祉事業の発展に功績のあった方々を表彰し、感謝の意を表することを目的として開催しました。

なお、今年度開催分については、新型コロナウイルスによる影響を考慮しつつ、講演会と式典の2部構成の予定を式典のみの開催とし、来賓等の参加者を限定しながら従来よりも規模を縮小して開催しました。

日 時：令和4年10月27日（木）午後2時30分から午後3時30分

場 所：伊勢崎市境総合文化センター 大ホール

受賞者：254名（団体）

表彰の部 186人（前年度：112人）

感謝の部 64人、4団体（前年度：40人、4団体）

参加者：256名（前年度：0人） ※受賞者及び来賓等

6. その他の事業・業務

(1) 実習生の受け入れ

国家資格「社会福祉士」の受験資格取得のための学生を受け入れ、社会福祉協議会事業の実習を行いました。

学校名・受入人数	受入期間	日数・時間
東京福祉大学 社会福祉学部3年 1人 (前年度：新型コロナウイルスの影響により中止)	令和4年5月30日～6月10日 令和4年10月4日～ 令和5年1月31日	10日間・80時間 30日間・240時間
高崎健康福祉大学 健康福祉学部3年 1人 (前年度：1人)	令和4年8月9日～9月21日	24日間・186時間

□地域福祉推進課

1. 地域福祉推進事業

(1) 地区社協活動の活性化及び支援

各地区社協に地区社協強化費の助成を行い、活動を支援しました。

(2) 福祉関係諸団体との連絡調整

民生委員児童委員連絡協議会、区長会等の諸団体と協力し各種事業に取り組みました。

2. 地域共生社会の実現に向けた地域づくりの推進

(1) 我が事・丸ごとの地域づくりを推進

地域共生社会の実現に向けて、地域や各団体等での勉強会等を通じて、地域の支え合いの体制づくりについての理解を促すとともに、様々な立場の職員が地域づくりに携わり、地域との連携に努めました。

(2) 伊勢崎市との連携による第1層協議体及び第2層協議体の運営支援

伊勢崎市から生活支援体制整備業務を受託し、第1層・第2層協議体にそれぞれ生活支援コーディネーター（SC）等推進メンバーを配置し、生活支援コーディネート業務及び協議体の事務局として運営を支援しました。

令和4年度は、コロナウイルス感染予防に配慮しながら、全圏域にて協議体が開催され、社協広報紙“かがやき”や協議体事務局だより（年2回発行）をとおして協議体関連の活動を周知しました。

①第1層協議体

- ・第6回協議体 令和4年11月28日（月）

第2層の活動発表及び意見交換

- ・第1層・第2層協議体情報交換会 令和5年3月29日（水）

高崎市第1層SC目崎氏の基調講演と地域支え合い活動モデル地区4団体の事例発表

②第2層協議体

地 区	協議体名	主な会場	開催回数		延参加人数	
			R 4	R 3	R 4	R 3
北	北のきずな	社会福祉会館	11 回	5 回	84 人	58 人
南	南十字星	南公民館	10 回	3 回	96 人	24 人
殖 蓮	殖蓮地域支え合い協議体	緋の郷	12 回	6 回	142 人	46 人
茂 呂	茂呂支え合い＝絆づくり＝	茂呂公民館	12 回	5 回	108 人	49 人
三 郷	みさとほほえみクラブ	三郷公民館	12 回	3 回	156 人	38 人
宮 郷	宮郷圏域協議体	宮郷公民館	12 回	5 回	215 人	83 人
名 和	名和ささえあいネット	名和公民館	11 回	4 回	77 人	42 人
豊 受	ささえ愛ネット豊受	豊受公民館	11 回	4 回	127 人	43 人
赤 堀	あかぼり地域支え合い協議体	赤堀保健福祉センター	9 回	3 回	64 人	17 人
東	あずま地区協議体	高齢者生きがいセンター	8 回	2 回	55 人	18 人
境	さかい支え合い協議体	境地域福祉センター	11 回	7 回	117 人	85 人
合 計			119 回	47 回	1,241 人	503 人

(3) 地域支え合い活動の普及・推進

令和3年度に共同募金配分金の事業見直しを行い、協議体と連携しての地域支え合い活動を支援し、普及・推進していくための新たな助成事業を実施しました。

①地域支え合い車両貸出事業

地域の支え合い活動を実施する団体等に対し、高齢者等が買い物や通院等で外出する際の移動支援に使用する車両を貸出することで、高齢者等の社会参加を図り、地域の支え合い活動を推進することができました。

また、令和2年度から群馬県共同募金会『今ある活動を「そだてる」助成』（NHK歳末たすけあい配分）の3年目の助成を受け、新しい車両1台の貸出をしています。

年 度	登録団体	利用回数	運転者数	支援者数	対象者数	利用時間	走行距離
R 4	4 団体	53 回	53 人	48 人	89 人	134 時間	1,102 km
R 3	3 団体	36 回	36 人	44 人	57 人	99 時間	840 km

※令和4年度、地域支え合い車両運転者等安全運転講習会（令和5年3月24日）を開催し「事故防止の考え方」を学習しました。 参加者：移動支援活動団体関係者12名

②地域交流・見守り活動支援事業（地域交流の促進と見守り活動の普及及び地域ふれあいサロン・子育てサロン等事業への支援）

・地域交流の促進と見守り活動の普及（見守り活動支援事業）

令和４年度から伊勢崎市ふれあいの居場所づくり事業の補助金交付を受けて運営している「ふれあいの居場所」に対し、見守り活動を促進するための事業を実施しました。

・地域ふれあいサロン支援事業

従来からのサロン活動（東）を支援することを目的として助成しました。

区 分	助成団体数	
	R 4	R 3
見守り活動支援事業	6 5	
地域ふれあいサロン支援事業	2	1

③地域活動支援事業（地域支え合い活動モデル事業、地域活動新設団体等への助成及び空き家等支え合い拠点づくりへの支援）

・地域支え合い活動モデル事業

令和４年度から第２層協議体と連携して、地域支え合い活動の取り組みを行う団体や地区に対し、その活動を他のモデルとなるよう支援するための事業を実施しました。

・地域活動新設団体等助成金

従来の地域活動支援事業を拡充して、新たに地域福祉活動を開始した団体に対し活動費の一部を助成しました。

・空き家等支え合い拠点づくり事業

令和４年度から空き家や空きスペースを活用した居場所に対し、支え合い活動の拠点として必要な改修や備品購入等を支援する事業を実施しました。

区 分	助成団体数	
	R 4	R 3
地域支え合い活動モデル事業	5	
地域活動新設団体等助成金	1	2
空き家等支え合い拠点づくり事業	0	

④地域友愛訪問事業による見守り活動の推進

地域支え合い活動の一環として、ひとり暮らし高齢者の見守りと交流を目的とした通年での地域友愛訪問事業に取り組みました。実際の訪問は伊勢崎ボランティア協会の協力を頂き、令和５年１月より態勢の整った支部から開始しました。

地 区	訪問回数
	R 4
北	0
南	0
殖 蓮	0
茂 呂	1
三 郷	3
宮 郷	0
名 和	3
豊 受	2

(4) 各日常生活圏域での関係機関との協働・連携強化

市地域包括支援センター、各圏域の高齢者相談センター、障害者基幹相談支援センター、社会福祉施設・医療機関等、様々な関係機関との連携強化に努めました。

3. 相談事業の開催

(1) 心配ごと相談事業

令和4年4月～12月までは、社会福祉会館（第1、第3及び第5月曜日）及び赤堀（第2、第4火曜日）・あずま（第1、第3及び第5水曜日）・境（第2、第4金曜日）各支所にて相談所を開設し、令和5年2月からは3支所の相談所を閉設し、社会福祉会館（毎週月曜日）の1箇所にて開設し、市民の日常生活上の課題克服に関する相談に応じ適切な助言指導を行いました。（令和5年1月は改選期のため、相談事業を休止いたしました。）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年間を通して電話相談のみで対応しました。

○相談件数

(件)

	伊勢崎		赤堀		あずま		境		合計	
	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3
開催日数(日)	27	24	18	23	20	25	17	22	82	94
相談件数(件)	32	32	12	24	12	23	10	18	66	97

○相談状況

(件)

	解 決		再 来		民生委員		他機関		その他		計	
年 度	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3
生 計	1	3	0	1	0	0	0	3	1	1	2	8
年 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職業・生業	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
住 宅	3	3	0	0	0	0	1	0	0	2	4	5
家 族	16	15	0	5	1	4	4	6	2	5	23	35
結 婚	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
離 婚	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0
健康・保健・衛生	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
医 療	0	3	0	2	0	0	1	3	0	0	1	8
人権・法律	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
財 産	1	0	0	0	0	1	4	2	0	0	5	3
事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
児童福祉・母子保健	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・青少年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害者（児）福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
母子福祉・父子福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高齢者福祉	1	0	0	0	0	1	1	2	0	0	2	3
苦 情	3	5	1	0	0	2	0	1	0	1	4	9
そ の 他	13	13	0	1	0	1	3	2	4	4	20	21
合 計	40	45	1	9	1	9	15	20	9	14	66	97

(2) 結婚相談事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事前予約制による相談業務を令和4年4月～12月まで行いましたが、令和5年2月からは予約不要として相談所を開設しました。

「出会いの場」の提供として令和5年2月5日（日）に開催した婚活パーティーは、新型コロナ対策としてマスク着用にて行いました。男性10人、女性11人が参加した中で3組のカップルが成立しました。

登録者数	R 4	R 3	相談件数・相談状況	R 4	R 3
男	87 人	105 人	開催日数	68 日	56 日
女	36 人	51 人	相談件数	186 件	169 件
計	123 人	156 人	お見合い（延べ）	20 件	17 件
			交際中（延べ）	51 組	88 組
			所内結婚成立	0 組	2 組

(3) 群馬県ふくし総合相談支援事業なんでも福祉相談員の配置

社会福祉法人の地域貢献事業として実施されている「群馬県ふくし総合相談支援事業」に参画し「なんでも福祉相談員」を配置して、生活や福祉に関する相談を受けました。

(4) その他必要な相談

日常業務での各種相談の対応に努めました。

4. 権利擁護体制の充実

(1) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者・知的障害者・精神障害者など判断能力が不十分な利用者に対し、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理サービス等を行うことにより、地域の中で安心した生活が送れるよう援助を行いました。

事業対象地域	伊勢崎市
--------	------

○事業状況

		R 4	R 3
相談件数	総件数	2,094 件	2,450 件
相談形態	訪問相談	0 件	0 件
	電話相談	2,075 件	2,376 件
	来所相談	19 件	74 件
	その他	0 件	0 件
相談分野	認知症高齢者	176 件	260 件
	知的障害者	270 件	383 件
	精神障害者	1,548 件	1,616 件
	身体障害者	0 件	0 件
	寝たきりの高齢者	0 件	0 件
	その他	100 件	191 件
申請件数	総件数	11 件	8 件
契約締結審査会依頼数	審査依頼件数	0 件	0 件
支援計画策定状況	策定件数	11 件	8 件
内 訳	認知症高齢者	2 件	2 件
	知的障害者	4 件	2 件
	精神障害者	5 件	4 件
	身体障害者	0 件	0 件
	寝たきりの高齢者	0 件	0 件

利用契約の締結状況	契約締結件数	11 件	8 件
内 訳	認知症高齢者	2 件	2 件
	知的障害者	4 件	2 件
	精神障害者	5 件	4 件
	身体障害者	0 件	0 件
	寝たきりの高齢者	0 件	0 件
生活保護受給者数	上記利用契約のうち 生活保護受給者数	4 人	5 人
生活支援員の登録状況	生活支援員登録者数	19 人	18 人
生活支援員の雇用状況	生活支援員の雇用者数 (延べ人数)	19 人	18 人

○相談者数 (人)

	認知症高齢者		知的障害者		精神障害者		その他		計	
年 度	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3
計	176	260	270	383	1,548	1,616	100	191	2,094	2,450

○契約者数 (人)

	認知症高齢者		知的障害者		精神障害者		その他		計	
年 度	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3
新規契約者数	2	2	4	2	5	4	0	0	11	8
継続契約者数	16	18	28	32	59	61	0	0	103	111
計	18	20	32	34	64	65	0	0	114	119

○援助状況

	延べ利用者数		援助時間数	
計	R 4	R 3	R 4	R 3
	1,213 人	1,287 人	1,874 時間	1,945 時間

(2) 障害者相談支援事業及び市地域包括支援センターとの連携強化

障害者基幹相談支援センターや地域包括支援センター等からの相談に対応し、関係機関との連携強化に努めました。

(3) 成年後見制度等の相談援助

市民からの成年後見制度についての相談に対応し、概要説明や専門職団体等の紹介を行いました。

(4) 市民後見人の育成活動支援

県及び県社協からの資料を参考に情報収集に努めました。

(5) 法人後見実施に向けた基盤整備

成年後見制度への理解促進等を目的に、群馬県社会福祉協議会より成年後見推進事業の指定を受け、担当職員向け研修会を開催しました。

(6) 啓発・研修事業の実施・協力

伊勢崎市より成年後見利用促進事業の委託を受け、リーフレットを作成し関係機関へ配布し、それに伴う問合せの対応を行いました。

(7) 関係機関連絡会議等の開催

玉村町社協が基幹社協化したため、連絡会議は特に行われませんでした。

5. 生活困窮者への支援

(1) 生活福祉資金貸付事業

群馬県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付事業について、民生委員や関係機関の協力を得ながら、伊勢崎市における相談窓口の役割を担いました。

令和2年から続いた「新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が減少した世帯に対する特例貸付」は令和4年9月30日を以って受付が終了し、貸付件数は合計で8,389件、貸付総額は、28億8,393万円にのぼりました。

○生活福祉資金貸付申請状況

(円)

資 金 種 類			件 数		金 額	
			R4	R3	R4	R3
生 活 福 祉 資 金	総合支援 資金	生活支援費	0	0	0	0
		生活支援費 (*特例貸付)	258	809	125,460,000	384,700,000
		生活支援費 (*特例延長貸付)	0	225	0	117,600,000
		生活支援費 (*特例再貸付)	0	717	0	374,510,000
		住宅入居費	0	0	0	0
		一時生活再建費	0	0	0	0
		計	258	1,751	125,460,000	876,810,000
	福祉資金	福祉費	2	3	169,000	696,000
		緊急小口資金	1	1	100,000	100,000
		緊急小口資金 (*特例貸付)	253	815	47,720,000	149,890,000
		計	256	819	47,989,000	150,686,000

	教育支援 資金	教育支援費	3	1	1, 520, 000	144, 000
		就学支度費	3	4	1, 426, 000	1, 381, 000
		計	6	5	2, 946, 000	1, 525, 000
	不動産担 保型生活 資金	不動産担保型生活資金	0	0	0	0
		要保護世帯向け不動産 担保型生活資金	1	2	660, 000	819, 000
		計	1	2	660, 000	819, 000
	合 計		521	2, 577	177, 055, 000	1, 029, 840, 000
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0	
総 合 計		521	2, 577	177, 055, 000	1, 029, 840, 000	

(2) 生活一時資金貸付事業

市内に居住する低所得世帯で生活困難におちいった世帯に対し、一時的に必要な生活資金を貸付けするとともに、償還に対する援助指導を行い、世帯の安定を図り生活の向上に向けた支援を行うことができました。

○生活一時資金貸付・償還状況

(円)

	申請件数		貸付決定件数		貸付金額		償還件数		償還金額	
	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3
計	16	4	16	4	416,000	120,000	21	11	356,000	105,000

年度末貸付原資残高 826,246 円

(3) 高額療養費つなぎ資金貸付事業

国民健康保険法に基づく高額療養費が適用され、入院等で高額となった医療費の支払いが困難な世帯に対し資金を貸付けることにより、医療機関への支払が可能となり、療養費を心配することなく治療を行うことができ、生活の安定を図ることができました。

○高額療養費貸付状況

(円)

	申 請 件 数		決 定 件 数		貸 付 金 額	
	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3
計	34	48	34	48	10,568,023	8,388,995

(4) 生活困窮者自立支援事業への協力

市が実施する生活困窮者自立相談支援事業支援調整会議に出席し、支援プラン作成に協力しました。

- ・支援調整会議開催回数 12回（前年度：12回）

(5) 地域交流事業（フードバンク等との連携・支援）

令和5年2月25日（土）に、地域交流事業の一環として子ども食堂てんとうむしの活動説明会とお弁当の試食用無料配布を実施しました。

6. 社会参加・生活支援充実

(1) 車いすの貸出事業

介護保険において自立と判定された者等に対し福祉機器の貸出を行い、在宅福祉の向上を図り、利用者の外出や移乗の援助を行うことができました。

(件)

		伊勢崎	赤堀	あずま	境	計
車いす延べ利用件数	R 4	78	5	29	28	140
	R 3	59	10	23	14	106

(2) 福祉車両の貸出事業

身体障害者等が外出する際の車いす用低床車を家族等に貸出することで、外出を容易にし、通院や買い物など日常生活を行う場合の利便性を図り、社会参加及びレクリエーション活動等への参加に対する交通手段を確保することができました。

○貸出状況

年 度	延べ利用者数		貸出日数		走行距離	
	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3
ボランティアセンター	82 件	103 件	20 泊 100 日	44 泊 149 日	2,715 km	3,725 km
あずま支所	75 件	72 件	61 泊 136 日	59 泊 130 日	3,158 km	3,585 km
境支所	70 件	76 件	37 泊 106 日	23 泊 72 日	3,028 km	3,839 km
合 計	227 件	251 件	118 泊 342 日	126 泊 351 日	8,901 km	11,149 km

○使用車両

	使 用 車 両
ボランティアセンター	ダイハツタント（令和4年7月から社協でリース）
あずま支所	トヨタシエンタウエルキャブ（平成28年登録社協保有車）
境支所	ダイハツタント（令和5年3月から社協でリース）

(3) 意思疎通支援事業

伊勢崎市からの委託を受け、市内在住の聴覚障害者の需要に応じた事業（手話通訳者設置事業・手話通訳者派遣事業）を実施することにより意思疎通の保障を確保し、自立と社会参加の促進を図ることを目的に実施しました。

①手話通訳者設置事業

緊急時の通訳対応や、団体活動の連絡、生活上の情報提供などが増加となりました。

- ・手話通訳者設置場所 伊勢崎市社会福祉協議会：地域福祉推進課
伊勢崎市障害者基幹相談支援センター
- ・手話通訳活動件数 1, 107件（前年度：1, 262件）

○手話通訳活動別件数 (件)

年 度	通 訳	電話通訳	連絡打合せ	相 談	その他	依頼件数
R 4	2 3 1	5 6	5 4 6	4 4	2 3 0	1, 1 0 7
R 3	2 7 5	6 5	5 9 2	3 9	2 9 1	1, 2 6 2

○手話通訳内容別件数 (件)

年 度	公的機関	医療機関	教育・保育	職業・資格	大会・会議・講演会	団体活動	その他	合 計
R 4	4 3	2 3 2	2 1	8 3	3	1 4 0	5 8 5	1, 1 0 7
R 3	2 0	2 6 3	3 0	5 8	0	1 3 3	7 5 8	1, 2 6 2

②手話通訳者派遣事業

新型コロナウイルス感染症の影響はありましたが、講演会や会議等の開催が再開となり、登録通訳者の派遣件数が徐々に戻ってきました。

- ・市登録手話通訳者 27人（前年度：26人）
【活動可能通訳者23人（前年度：23人）】
- ・派遣件数 583件（前年度：568件）
- ・派遣人数 637人（前年度：607人）

※大会、会議、講演会など2時間を超える内容等の派遣は、複数派遣しています。

※要約筆記者派遣事業については、市で実施しました。

7. 関係団体等への支援

(1) 関係団体との連携強化

関係団体等との連携に努めました。

(2) 関係団体への育成援助及び助成

①伊勢崎市老人クラブ連合会

伊勢崎市老人クラブ連合会の事務局として、総会・役員会・各専門部会等の会議を開催しました。グラウンドゴルフ大会、スマイルボウリング大会、ゲートボール大会、輪投げ大会、芸能大会等の事業規模を縮小し、実施しました。また、各支所においても各地区老人クラブの事業等を支援しました。

- ・会 長 大貫 森次
- ・会員数 8, 452人(前年度: 9, 084人)
- ・総 会 令和4年5月13日(金) ※書面審議
- ・役員会・専門部会等開催 23回(前年度: 13回)

②一般財団法人群馬県遺族の会伊勢崎支部

遺族の会伊勢崎支部の事務局として、総会・役員会等の会議を開催し、国・県・市戦没者追悼式に参列。靖国神社・県護国神社参拝等の事業を実施するとともに、県遺族の会主催の海外戦跡慰霊巡拝、沖縄「群馬の塔」慰霊参拝事業に参加しますが、新型コロナウイルスのため事業は中止になりました。

また、各支所においても各地区の遺族会への会議・事業等を支援しました。

- ・支部長 井上 清行
- ・会員数 485人(前年度: 617人)
- ・総 会 令和4年5月20日(金) ※書面審議
- ・役員会等開催 3回(前年度: 2回)

③伊勢崎市母子会

離婚や死別などで配偶者をなくした母子世帯(父子世帯)の自立支援と会員相互の親睦を深めるために設立された団体であり、ふれあい交流事業(若年・寡婦)の実施、県・市各種大会への参加等を支援していますが、新型コロナウイルスのため事業は中止になりました。

- ・会 長 小此木 安代
- ・会員数 30人(前年度: 31人)
- ・総 会 令和4年4月15日(金) ※書面審議
- ・役員会議等開催 6回(前年度5回)

④伊勢崎保護区保護司会

罪を犯した人が社会復帰するための手助けをする、法務省から委嘱を受け結成された団体であり、第72回社会を明るくする運動事業の積極的推進、自主研修会の実施、県・市各種大会への参加等を支援しました。

- ・会 長 関口 芳一
- ・会員数 74人(前年度: 79人)
- ・総 会 令和4年5月23日(月)
- ・役員会議等開催 4回(前年度: 4回)

⑤伊勢崎地区更生保護女性会

女性としての立場から更生保護活動に協力するボランティア団体であり、全国及び県更生保護女性連盟に関係する各大会・研修会への出席・事業協力等を支援しました。

- ・会 長 山下 美津子
- ・会員数 4 1 2 人（前年度：4 4 6 人）
- ・総 会 令和4年5月10日（火） ※書面審議
- ・役員会議等開催 16回（前年度：10回）

⑥更生保護サポートセンター伊勢崎の運営協力

職業支援センターいせさき（宮子町）内に設置したセンターに7人の企画調整保護司が交代で常駐し、対象者との面接等に利用した他、主任保護観察官の定期駐在や、保護司会役員会等の会場としても活用しました。

⑦伊勢崎ボランティア協会

伊勢崎ボランティア協会の事務局として、総会・役員会等の会議を開催するとともに、地域福祉を推進するための様々な活動を支援しました。

- ・会 長 小倉 良枝
- ・会員数 6 5 6 人（前年度：6 8 5 人）
- ・総 会 令和4年5月27日（金）
- ・役員会議等開催 12回（前年度：12回）

⑧団体等助成金事業

伊勢崎市内に活動拠点を置く当事者団体等に対し、活動費を助成しました。

区 分	助成団体数	
	R 4	R 3
当事者団体、援護団体、福祉活動団体	1 0	1 0
地区社協	1 1	1 1

⑨ボランティア団体等への助成

伊勢崎市内に活動拠点を置くふくしボランティア団体等に対し、活動費を助成しました。

区 分	助成団体数	
	R 4	R 3
ボランティア団体	1 6	1 7

8. 各支所との連絡調整

- （1）赤堀支所に係る事業の連絡調整
- （2）あずま支所に係る事業の連絡調整
- （3）境支所に係る事業の連絡調整

9. 共同募金会への協力

群馬県共同募金会が定める伊勢崎市共同募金委員会として、地域福祉と民間の社会福祉事業のための計画募金である「赤い羽根共同募金」と「歳末たすけあい募金」を、各行政区の区長はじめ、民生委員、ボランティア等関係団体の協力を得て実施するとともに、地域配分に係る申請受付・審査・配分業務を実施しました。

また災害時の対応として、火災にあわれた世帯に対して見舞金の贈呈を行ったほか、災害義援金の受付を実施しました。

- ・会 長 中西 保
- ・運営委員会 3回
- ・募金委員会 2回
- ・運営委員・募金委員合同会議 1回

10. 戦没者等追悼式の執行

伊勢崎市から委託を受け、令和4年11月10日(木)伊勢崎市文化会館大ホールを会場に、遺族並びに地域福祉を担う関係者が参列し、伊勢崎市戦没者等追悼式を行いました。

黙とう、追悼の辞、献花、小学生による「平和への想い」作文朗読等の式典をしめやかに執り行い、参列者一同が戦没者等諸霊に対し感謝と平和への祈りをささげ、平和な郷土を築くことを誓い、安らかなご冥福を祈念しました。

また、大ホールロビーには、「平和への想い」をテーマにした小学生の絵画を展示しました。

- ・参列者数207人(前年度：中止)

11. その他の地域福祉推進

(1) 社会を明るくする運動への協力

推進委員会の事務局として、広報資材の作成・配布や作文コンテストへの協力等を行いました。

- ・令和4年6月16日(木) 伊勢崎佐波推進委員会及び実行委員会
- ・令和4年7月4日(月) 伊勢崎佐波推進大会

(2) その他必要な事業

地域福祉の推進に必要な事業を実施しました。

◇ ボランティア・市民活動センター

(1) ボランティア活動に関する相談・支援

① ボランティア活動に関する相談等

- ・ ボランティア活動相談件数 88件（前年度：71件）

- ・ ボランティア登録

個人 857人（前年度：790人）

団体 137団体 8,148人（前年度：115団体 7,579人）

計 9,005人（前年度：8,369人）

② ボランティアの養成講座開催・活動支援

- ・ リラクゼーション講座

マスク生活における顔まわりの緊張をほぐすマッサージやリフレッシュを目的とした手や足のセルフケアを行いました。

令和4年6月29日・7月22日 計50人参加

③ 市民ボランティアフェスティバルの開催（市と共催）

令和5年2月5日、緋の郷を会場に第18回市民ボランティアフェスティバルを開催しました。市内のボランティア団体がステージ発表、活動体験、ブース展示、バザーに分かれて日頃の成果の発表や市民との交流等を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となりました。

- ・ 34団体 一般来場者含め約1,200人参加

（前回（令和元年度）：51団体 一般来場者含め約1,500人参加）

④ ボランティア・市民活動団体情報交換会の開催（市と共催）

令和5年3月21日、緋の郷を会場に「市民活動のためのヒント・コツを学ぼう」をテーマに各種団体が参加し、伊勢崎ボランティア協会、みちくさ塾、伊勢崎市ボクシング協会の団体代表による講演と参加者による情報交換を実施しました。

- ・ 13団体 44人参加（前年度：22団体 34人参加）

⑤ ままサロン“まま”のほっとステーション事業

子育てに悩みがちな母親がほっとできる空間をつくることを目的に、ボランティアの協力を得てサロンを開催しました。

- ・ 社会福祉会館ボランティアルーム（一部児童センターふれあいルーム）で毎月第3月曜日に開催

- ・ 12回開催 参加者：61人（前年度：4回 27人）

⑥ボランティアネットワーク事業

登録制のボランティアメールを活用し、伊勢崎市内の福祉施設やボランティア団体などのボランティア募集・福祉関連イベント情報を配信しました。

- ・メール登録施設：５８施設（前年度：５８施設）
- ・メール登録ボランティア団体：８４団体（前年度：７３団体）
- ・メール登録個人ボランティア：３３８人（前年度：３０４人）

⑦認知症カフェ推進事業

認知症の人とご家族や、認知症について関心がある人など、誰でも立ち寄れ、ほっと過ごせる場づくりのため、ボランティアとの協働によりカフェ事業を推進しました。

３ヵ所計１９回開催（前年度：１６回開催）

- ・オレンジカフェよりみち

会場：市社会福祉会館（毎月第３水曜日の午前中を基本に開催）

- ・オレンジカフェほほえみ

会場：高齢者生きがいセンター（毎月第２木曜日の午前中を基本に開催）

- ・オレンジカフェおんたけやま

会場：境地域福祉センター（毎月第２月曜日の午前中を基本に開催）

（２）災害ボランティア体制整備

①「災害時における協力体制に関する協定」の締結

令和５年２月２日、伊勢崎青年会議所と災害時における災害ボランティアセンター設置時において、被災者等を対象として支援活動を実施する時に伊勢崎青年会議所が迅速かつ効果的に支援を実施することを目的に締結しました。

②伊勢崎市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの策定

令和５年３月、伊勢崎市社会福祉協議会が設置する伊勢崎市災害ボランティアセンターの設置・運営に関し、伊勢崎市地域防災計画及び伊勢崎市災害ボランティアセンターの設置・運営等に関わる協定書、伊勢崎市社会福祉協議会事業継続計画等に基づき、災害発生時の確認、各班の業務、関係機関との連絡調整等に関する必要な内容をまとめました。

③災害ボランティアセンター設置時における運営ボランティア登録者募集

災害発生時に迅速に災害ボランティアセンターの運営を行うためのボランティアとして登録者を募集しました。

- ・登録者数：５４人（前年度：４１人登録）

（３）介護支援ボランティア事業

６５歳以上の要支援・要介護認定を受けていない人が、介護支援ボランティア活動を行うことを通じて、高齢者の社会参加・社会貢献活動の奨励、介護予防と生きがいづくりの促進をするとともに、ボランティアが地域の支え手として活動できる地域社会づくりを推進しました。

・基本研修の実施

介護支援ボランティアについての概要説明、活動内容等について

計6回実施（前年度：3回実施）

5月13日、7月27日、9月16日、11月14日、1月24日、3月16日

・ボランティア活動対象施設

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、居宅サービス事業所、地域密着型サービス事業所 計58施設（前年度：58施設）

・活動実績

登録人数 503人（内、新規登録人数 17人）

（前年度：486人（内、新規登録人数 21人））

延べ活動人数 151人（前年度：100人）

延べ活動時間 181時間（前年度：198時間）

○活動内容内訳

（時間）

活動内容	R 4	R 3
レクリエーション等の指導・参加支援	13	70
お茶出し・食堂内の配膳・片付けなどの補助	60	6
喫茶などの運営補助	6	0
散歩・外出・管内移動の補助	0	0
行事等の手伝い	0	0
傾聴・話し相手等	23	70
場内の整備（管内美化・植栽の手入れ等）	68	52
趣味活動等の指導	3	0
その他（施設職員と行う補助的活動）	8	0
計	181	198

（4）福祉教育の推進事業

社会福祉協力校を1校指定し活動を支援するとともに、総合学習における車いす・高齢者疑似体験等の体験学習を各学校等において実施し福祉教育を支援しました。

①社会福祉協力校の指定

学童・生徒が体験学習の機会を通して、社会福祉の関心を高め、日常生活の中で相互扶助、社会連帯の思想を浸透させるため、市内の小・中学校・高校を社会福祉協力校として指定、活動費の助成を行いました。

※令和4年度の指定校：坂東小学校（前年度指定校：三郷小学校）

②総合学習への協力（福祉体験教室への支援）

市内の小学校から依頼を受け総合学習等の時間に車いす・高齢者疑似体験等の福祉教育を福祉教育サポーターと共に支援しました。

○福祉体験学習実施状況（学校別）

地域	学 校 名	学年	クラス	人数	月別	内 容
伊勢崎	北第二小学校	4	1	3 5	9 月	車いす体験
	殖蓮第二小学校	4	2	5 3	7 月	車いす体験
				5 2	2 月	高齢者疑似体験
	茂呂小学校	4	4	1 4 0	1 2 月	車いす体験 ブラインドウォーク体験
	三郷小学校	4	3	1 0 0	1 月	車いす体験
	宮郷小学校	6	5	1 5 0	1 1 月	車いす体験
	名和小学校	4	3	8 0	1 1 月	車いす体験 ブラインドウォーク体験
	坂東小学校	4	2	7 5	2 月	車いす体験
赤堀	赤堀南小学校	4	3	8 7	7 月	車いす体験 ブラインドウォーク体験
	赤堀東小学校	4	2	6 4	6 月	車いす体験
	赤堀小学校	4	3	1 0 2	7 月	車いす体験 ブラインドウォーク体験
あずま	あずま北小学校	4	2	6 4	9 月	車いす体験
境	境剛志小学校	4	1	3 3	1 1 月	車いす体験
合 計	12 校 (延 13 校)		3 1	1, 0 3 5		

(前年度：9 校（延 9 校） 2 3 クラス 7 0 6 人)

◇ 障害者相談支援センター

(1) 障害者相談支援事業

障害者総合支援法に基づく市町村の必須事業で、障害者の福祉に関する各般の相談に応じ、情報の提供及び福祉サービスの利用支援等を実施しました。また自立支援協議会に関しては新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止となりました。

市から業務委託を受けた（社福）伊勢崎市愛のはぐるま会、（社福）明清会、（社福）桑の実福祉会、（社福）樫の木、（医）原会、（社福）群馬県社会福祉事業団と共に市障害者センター内にて、伊勢崎市基幹相談支援センターとして、身体・知的・精神の三障害を対象に相談支援事業を実施しました。

(2) ピアカウンセリング事業

障害を持つ相談員（ピアカウンセラー）による障害当事者同士の相談支援（ピアカウンセリング）を実施しました。

①相談支援の実施状況（社会福祉協議会実施分＝主に身体障害を担当しました。）

年間延べ支援者数	区 分	R 4	R 3
	身体障害者	2 7 7 人	3 0 4 人
	身体障害児	1 5 人	9 人
	重症心身障害者	1 6 人	1 0 人
	重症心身障害児	4 人	4 人
	知的障害者	6 9 人	9 3 人
	知的障害児	1 0 人	1 5 人
	精神障害者	1 4 人	3 5 人
	精神障害児	0 人	2 人
	発達障害者	4 人	0 人
	高次脳機能障害者	4 人	9 人
	その他（者）	7 4 人	5 2 人
	その他（児）	1 人	0 人
	合 計	4 8 8 人 (実支援者数 4 2 3 人)	5 3 3 人 (実支援者数 4 1 3 人)
年間支援回数	訪問	9 1 回	1 3 4 回
	来所相談	6 3 回	8 1 回
	同行	1 回	0 回
	電話相談	5 5 回	6 9 回
	電子メール	2 回	2 回
	個別支援会議	4 回	6 回
	関係機関	2 5 8 回	2 0 6 回
	その他	0 回	5 回
	合計	4 7 4 回	5 0 3 回

支援内訳 (うちピアカウンセリング)	福祉サービス利用	3 5 4 件 (1 2 件)	4 5 2 件 (6 件)
	障害・病状の理解	1 件 (0 件)	1 件 (0 件)
	健康・医療	2 4 件 (3 件)	5 0 件 (1 0 件)
	不安の解消・安定	7 6 件 (7 件)	5 4 件 (8 件)
	保育・教育	0 件 (0 件)	3 件 (0 件)
	家族・人間関係	3 1 件 (1 7 件)	5 1 件 (2 5 件)
	家計・経済	1 2 件 (2 件)	8 件 (0 件)
	生活技術	3 件 (2 件)	6 件 (1 件)
	就労	3 1 件 (0 件)	1 2 件 (1 件)
	社会参加・余暇支援	1 3 件 (1 3 件)	9 件 (8 件)
	権利擁護	1 件 (1 件)	2 件 (0 件)
	その他	5 0 件 (1 3 件)	2 7 件 (1 4 件)
	合 計	5 9 6 件 (7 0 件)	6 7 5 件 (7 3 件)

(3) 日常生活自立支援事業との連携強化

日常生活自立支援事業と連携して障害を持つ方の権利擁護に関する相談を実施しました。

◇赤堀支所

1. 地域福祉活動の推進事業

(1) 地域友愛訪問事業による見守り活動の推進

一人暮らし高齢者等で見守りが必要と思われる方に対し、ボランティアが定期的に訪問し、安否確認や話し相手等の見守り活動を行いました。住民参加による地域福祉ネットワークを形成することができ、対象者の支援に役立ちました。

①定期友愛訪問（地域ごとに毎月1回）

ボランティアがヤクルト等をお届けし、見守り活動を行いました。

訪問人数：延べ1, 278人（前年度：1, 274人）

②年末友愛訪問

ボランティアによる手づくり蒸かし饅頭をお届けし、見守り活動を予定しておりましたが新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

(2) 地域ふれあいサロン支援事業

地域の中で孤独になる人をつくらないということを目的として、小地域を単位としたふれあいの場を設け、サロン活動の支援を予定しておりましたが新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

(3) ゆうあい昼食会事業

日頃、家に閉じこもりがちになり暮らし高齢者を対象に、市内を拠点に活動している楽団による歌謡曲の生演奏を楽しみながら、お互いの親睦を深める昼食会を予定しておりましたが新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

(4) 福祉体験教室への支援

総合学習における車いす体験やブラインドウォーク体験を各小学校において実施し、福祉教育を支援しました。

- ・ 6月16日（木） 赤堀東小学校4年生（2クラス）64人（前年度：60人）
- ・ 7月12日（火） 赤堀小学校4年生（3クラス）102人（前年度：中止）
- ・ 7月19日（火） 赤堀南小学校4年生（3クラス）87人（前年度：96人）

(5) 赤堀地区協議体の運営支援及び地域支え合いの体制づくり推進

赤堀地区の第2層協議体に参加し、地域住民をはじめ多様な主体による地域課題の情報共有や連携・協働により、地域支え合いの体制づくりを推進しました。

- ・あかぼり地域支え合い協議体 毎月第3水曜日 赤堀公民館で開催
(新型コロナウイルス感染予防のため、4月、5月、7月は休止)

(6) 地域交流事業（はつらつ地域健康講座）

地域交流の一環として、住民を対象にスマートフォンの使い方や健康に関する全8回の講座を開催し、延べ136人に参加いただきました。

2. 赤堀地区社会福祉協議会

(1) 地区の総合的支援体制づくり

赤堀地区社会福祉協議会の事務局として、区長会、民生委員児童委員協議会、ボランティア等、地域の各種団体との連携を深めるため役員会議を開催し、赤堀地区の総合的支援体制づくりを推進しました。

- ・第1回役員会議 令和4年5月19日（木）
- ・第2回役員会議 令和4年8月19日（金）
- ・第3回役員会議 令和5年1月31日（火）（書面審議）

(2) 事業の推進

- ・赤堀地区金婚記念式典（令和4年11月12日（土）：赤堀公民館）
新型コロナウイルス感染予防のため記念撮影と慶祝状等の贈呈のみ実施
- ・ゆうあい昼食会事業（新型コロナウイルス感染予防のため中止）
- ・赤い羽根共同募金法人募金〔令和4年10月26日（水）〕への協力

◇あずま支所

1. 地域福祉活動の推進事業

(1) 地域友愛訪問事業による見守り活動の推進

あずま地区のひとり暮らし高齢者を対象に、月1回自宅に非常食等をお届けする友愛訪問事業を実施しました。あずま地区民生委員児童委員とボランティアに1か月交代で協力していただき、安否確認や会話をとおして見守り活動を推進しました。

- ・月平均利用者 39人（前年度：40人）
- ・延べ利用人数 466人（前年度：482人）

(2) 地域ふれあいサロン支援事業（ふれあい事業）

あずま地区のひとり暮らし高齢者を対象に、あずま地区民生委員児童委員協議会の協力により年1回、あずまボランティアの会の協力により年1回の計2回実施しました。

伊勢崎警察署による特殊詐欺防止講話とボランティア団体によるフラダンスを鑑賞した後、お弁当とお茶を配付して閉会となりました。

- ・実施日 令和4年10月16日（日）、10月23日（日）
- ・会場 みやまセンター 大広間
- ・延べ参加者 163人（前年度：中止）

(3) 地域子育てサロン事業

子育て中の親子が気軽に参加し情報交換や遊びなどを通して交流を深めることで、仲間づくりや子育ての悩み等を相談共有できるよう、ふれあいの場を提供する予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

(4) 高齢者いきいき講座

高齢者の介護予防及び日常生活上の自立を目的に、生きがい・健康増進に関する健康講座、小物作りなどの講座を開催しました。また、第1回目では、あずま地区地域ふくし交流事業の作品展も見学しました。

- ・実施日 令和4年9月15日（木）、10月20日（木）、11月17日（木）、12月15日（木）（全4回）
- ・会場 高齢者生きがいセンター
- ・延べ参加者 42人（前年度：中止）
- ・内容 健康講話、小物作り（アロマスプレー、ハンドクリーム）

(5) ボランティア養成講座・情報交換会

新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

(6) 福祉体験教室への支援

総合学習における福祉体験学習を各学校において実施し、福祉教育を支援しました。

- ・ 9月29日 あずま北小学校 4年生 64人 車いす体験（前年度：77人）

(7) あずま地区協議体の運営支援及び地域支え合いの体制づくり推進

あずま地区第2層協議体に参加し、地域住民をはじめ多様な主体による地域課題の情報共有や連携・協働により、地域支え合いの体制づくりを推進しました。

- ・ あずま地区協議体 8回、運営委員会 8回 高齢者生きがいセンターで開催

(8) 地域交流事業（あずま地区地域ふくし交流事業）

あずま事業所・みやまセンター・高齢者生きがいセンターとの共催により作品展や社協事業の紹介等を通じて、地域住民との交流を広げるとともに社協事業を周知しました。

- ・ 実 施 日 令和4年9月10日（土）～20日（火）日曜日除く実9日間
- ・ 会 場 みやまセンター
- ・ 延べ参加者 237人（新規事業）
- ・ 内 容 作品展、社協事業のパネル展示、介護相談等

2. あずま地区社会福祉協議会

(1) 地区の総合的支援体制づくり

区長会、民生委員児童委員協議会、ボランティア等、地域の各種団体との連携を深めるため会議を開催し、あずま地区の総合的支援体制づくりを推進しました。

- ・ 第1回会議 令和4年5月24日（火）（書面審議）
- ・ 第2回会議 令和4年12月7日（水）（書面審議）

(2) 事業の推進

あずま地区社会福祉協議会の各事業の実施を支援しました。

- ・ あずま地区金婚・ダイヤモンド婚式（慶祝状・記念品等の贈呈、記念撮影）
（令和4年11月22日（火）：高齢者生きがいセンター）
- ・ 赤い羽根共同募金法人募金〔令和4年11月15日（火）〕への協力

□境支所

1. 地域福祉活動の推進事業

(1) 地域友愛訪問事業による見守り活動の推進

境地区のひとり暮らし高齢者等を対象に、ボランティアがレトルト食品等を手渡ししながら安否確認・友愛訪問を行いました。

新型コロナウイルス感染予防対策に努めながら、境ボランティア連絡協議会会員及び個人ボランティアの協力を得て行いました。

- ・実 施 日 祝日を除く第2、第4木曜日の月2回
- ・延べ実施回数 22回（前年度：22回）
- ・延べ配達数 581個（前年度：778個）
- ・延べボランティア数 249人（前年度：311人）

(2) 筋力トレーニング講習会

市内全域の高齢者が、健康で豊かな老後を送れるよう、介護予防に効果のある筋力トレーニングの普及と地域指導者のレベルアップを図ることを目的として計画を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

(3) 障害者サロン

精神障害をもつ人が気軽にかつ自由に集い、楽しみながら情報交換や交流、仲間づくりを行う場を提供することを目的に、ボランティアの協力によりサロン活動をコロナウイルス感染予防対策に配慮しながら可能な範囲で実施しました。

- ・実 施 日 毎月第1土曜日 第3金曜日（月2回実施）全23回
- ・対 象 者 市内在住の精神障害者
- ・延参加者 431人（前年度：153人）
- ・協力団体 障害者福祉ボランティア「そよ風」、社会福祉法人やよい福祉会
社会福祉法人明清会、伊勢崎市障害者家族会連絡会「綾の会」

(4) 高齢者いきいき講座

高齢者が健康で心豊かな生活を営むことができるよう、多様な内容で生きがいづくりや健康づくりを行うことを目的に開催を予定しておりましたが新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

(5) 地域子育てサロン事業

子育て中の親と子が楽しみながら仲間をつくり、互いに支えあう活動の支援を行うことを目的に開催を予定しましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

(6) 夏休み宿題自習室

小学生を対象に、夏休み期間仲間と一緒に学習するための場所を提供することを目的に計画しましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

(7) 電話でお話し相手事業

地域の人と交流の少ない高齢者を対象に、傾聴のボランティアが電話による話し相手を行い、孤立感の解消や関係機関等への橋渡しを行いました。

- ・実施日 第1～第4木曜日
- ・会場 境地域福祉センター
- ・対象 市内在住の高齢者等
- ・利用件数 288件（前年度：239件）
- ・協力団体 傾聴ボランティア「たんぽぽ」

(8) 福祉体験教室への支援

総合学習における福祉体験学習を各学校において実施し、福祉教育を支援しました。

- ・11月25日 境剛志小学校 4年生 33人 車いす体験(前年度：49人)

(9) 境地区協議体の運営支援及び地域支え合いの体制づくり推進

境地区の第2層協議体に参加し、地域住民をはじめ多様な主体による地域課題の情報共有や連携・協働により、地域支え合いの体制づくりを推進しました。

- ・境地区協議体 隔月 境地域福祉センターで開催

(全体会は11/17, 2/20、世話人会は4/26, 6/14, 7/20, 8/9, 9/14, 10/13, 12/20, 1/25, 3/22 開催)

(10) 地域交流事業

屋内レクリエーションスポーツとしてボッチャボールセットを貸し出し、地域の方々の交流の場を設け、集いの場としていただくことにより事業充実と施設の利用拡大を図りました。

- ・令和4年12月15日(木) 49人
- ・令和4年12月16日(金) 26人
- ・令和5年 1月13日(金) 9人
- 合 計 84人

2. 境地区社会福祉協議会

(1) 地区の総合的支援体制づくり

境地区社会福祉協議会の事務局として、役員会議等を開催する他、各地域団体との連携に努め、境地区における支援体制づくりを推進しました。

- ・第1回 令和4年5月31日（火）
- ・第2回 令和4年7月25日（月）
- ・第3回 令和4年10月24日（月）
- ・第4回 令和5年2月10日（金）

(2) 事業の推進

- ・境地区金婚記念式典（令和4年11月15日（火）：境地域福祉センター）
新型コロナウイルス感染予防のため記念撮影と慶祝状等の贈呈のみ実施
- ・赤い羽根共同募金法人募金〔令和4年10月14日（金）～〕への協力

□在宅福祉課

1. 介護保険事業の経営

利用者が住み慣れた地域の中で、可能な限り自立した生活を営むことが出来るよう、介護度が重くなることを防止し、現状の介護状態を維持または改善することを目的に、居宅介護支援事業、訪問介護事業、訪問入浴事業、通所介護(デイサービス)事業を実施しました。

また、介護保険事業経営改善検討委員会を設置し、経営改善に係る諸課題を検討し、経営の安定を図りました。

(1) 居宅介護支援事業

ケアプランの作成、予防ケアマネジメント、介護認定調査、住宅改修等の支援を行う事業であり、伊勢崎・あずま・磯沼荘の各事業所で実施しました。

要介護・要支援者の心身の状況や置かれている環境、本人や家族の希望を勘案し、居宅サービス、地域密着型サービスあるいはその他の保健医療サービス等を適切に利用できるように、居宅サービス計画を作成し、その計画に基づくサービスの提供が適切に行われるよう、サービス提供事業者と連絡調整を行うなどの支援を行いました。

① 居宅介護支援事業実績

(単位：件)

区分 事業所	ケアプラン		予防マネジメント		介護認定調査		住宅改修	
	R4 年度	R3 年度	R4 年度	R3 年度	R4 年度	R3 年度	R4 年度	R3 年度
伊勢崎	1,645	1,610	332	385	111	85	6	8
あずま	1,547	1,424	615	599	132	80	3	4
磯沼荘	2,452	2,452	604	562	288	237	16	8
計	5,644	5,486	1,551	1,546	531	402	25	20

(介護認定調査受託市区町村：41 市区町村)

② 利用者の要介護度（令和5年3月31日現在）

(単位：人)

区分 事業所	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		計	
	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3
伊勢崎	50	49	35	37	20	36	17	16	8	3	130	141
あずま	30	35	37	43	29	20	17	19	11	10	124	127
磯沼荘	70	67	53	55	33	31	31	32	15	19	202	204
計	150	151	125	135	82	87	65	67	34	32	456	472

(2) 訪問介護事業

要介護者や要支援者に対し、介護福祉士などの資格を有する訪問介護員が居宅を訪問し、入浴、排泄、食事等の身体介護サービスや調理、洗濯、買い物等の生活支援サービスを実施しました。

① 利用者の要介護度（令和5年3月31日現在）

（単位：人）

性別	年度	要支援		要介護					計
		1	2	1	2	3	4	5	
男	R4	7	5	7	5	2	1	1	28
	R3	8	3	11	11	3	2	1	39
女	R4	7	16	24	14	3	3	1	68
	R3	10	18	26	15	4	3	1	77
計	R4	14	21	31	19	5	4	2	96
	R3	18	21	37	26	7	5	2	116

② 利用者の年齢階層（令和5年3月31日現在）

（単位：人）

区分 性別	年度	69歳以下	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳以上	計
男	R4	7	3	5	4	5	3	27
	R3	8	7	6	6	5	7	39
女	R4	6	6	10	13	18	15	68
	R3	7	7	13	8	24	18	77
計	R4	13	9	15	17	23	18	95
	R3	15	14	19	14	29	25	116

③ 訪問介護事業実績

	延訪問回数(回)		延訪問時間(時間)		延利用者数(人)	
年度	R4	R3	R4	R3	R4	R3
実績	7,309	9,994	7,616.4	10,384.0	725	923

④ 介護予防・日常生活支援総合事業訪問型サービス実績

	延訪問回数(回)		延訪問時間(時間)		延利用者数(人)	
年度	R4	R3	R4	R3	R4	R3
実績	2,538	3,315	2,509.0	3,287.3	415	523

⑤ 介護予防・日常生活支援総合事業 訪問型サービスA（基準緩和訪問型）実績

	延訪問回数(回)		延訪問時間(時間)		延利用者数(人)	
年度	R4	R3	R4	R3	R4	R3
実績	70	65	70	65	24	20

⑥ 福祉有償運送実績

延利用回数(回)		延利用者数(人)	
R4 年度	R3 年度	R4 年度	R3 年度
415	630	123	164

(3) 訪問入浴事業

家庭での入浴が困難な要介護・要支援者に対して、特殊な設備を備えた入浴車で訪問し、浴槽を室内に設置して入浴介護サービスを伊勢崎事業所で実施しました。

① 利用者の要介護度（令和5年3月31日現在）

（単位：人）

区分 性別	年度	要支援		要介護					計
		1	2	1	2	3	4	5	
男	R4	0	0	0	1	0	0	2	3
	R3	0	0	1	0	1	0	2	4
女	R4	0	0	1	1	1	7	9	19
	R3	0	0	0	0	1	6	7	14
計	R4	0	0	1	2	1	7	11	22
	R3	0	0	1	0	2	6	9	18

② 利用者の年齢階層（令和5年3月31日現在）

（単位：人）

区分 性別	年度	69 歳 以下	70 歳～ 74 歳	75 歳～ 79 歳	80 歳～ 84 歳	85 歳～ 89 歳	90 歳 以上	計
男	R4	2	0	0	0	1	0	3
	R3	2	1	0	0	0	1	4
女	R4	2	1	1	4	2	9	19
	R3	2	0	1	2	1	8	14
計	R4	4	1	1	4	3	9	22
	R3	4	1	1	2	1	9	18

③ 訪問入浴事業実績

	延訪問回数(回)		延利用者数(人)		入浴台数(台)	
年度	R4	R3	R4	R3	R4	R3
実績	1,143	1,093	241	229	3	3

(4) 通所介護（デイサービス）事業

通所介護事業は、あずまデイサービスセンター、磯沼荘デイサービスセンターの2事業所で実施しています。

サービス内容は、通所介護計画に沿って、入浴介助（一般入浴または機械浴槽を使用しての入浴）、送迎サービス、食事サービス（栄養並びに利用者の身体の状態及び嗜好を考慮した食事を提供）、機能訓練（心身等の状況に応じて日常生活を送るのに必要な機能の回復又はその減退を防止するための訓練を実施）、その他必要な介護等を実施しました。

① あずまデイサービスセンター

季節に応じてイベントを企画し、コロナ禍でも楽しめるような事業を実施して、家族との連携を密にすることで安心して利用いただけるほか、家族の介護負担の軽減にも大きな成果を挙げています。また、利用者の生活リズムや健康状態を常に把握し、栄養士が作成する献立による食事、入浴、機能訓練、口腔ケアなど、利用者のニーズにあったサービスを心掛けました。

事業名	事業内容
お花見事業	桜の見学…普段外出の難しい利用者にセンター敷地内外の桜や中島飛行場の跡地の桜を眺めて季節感を味わう体験をしてもらうため、開花状況を考慮しながら企画実施しました。 小菊の見学…赤堀の小菊の里へ行き、車窓からですが、色とりどりの菊の花を見学し、気分転換ができました。
お誕生会	デイルームにおいて、誕生日を迎えた人を毎月お祝いしました。誕生日の方には職員手作りの写真付きカードと折り紙で作った季節の花とお碗をプレゼントし、歌をうたい、ケーキと紅茶で楽しいひと時を過ごしました。
お茶会	毎月10日に和菓子を用意し、お茶会を実施しました。職員が着物を着て、お抹茶をたてふるまい優雅なひと時を楽しんでもらいました。
夏祭り	8月23日（火）・24日（水）・25日（木）、レクリエーションの時間にて、射的大会を中心に実施しました。職員手作りの、たこ焼き・かき氷・蒸しじゃがバターをおやつで提供し、夏のイベントで盛り上がりました。
敬老会	9月15日（木）に敬老の日のお祝いとして、どら焼きと職員手作りの水引で作った梅のキーホルダーをプレゼントしました。慰問にてフラダンスショーを開催し、おやつにはスイーツバイキングとして、ケーキやお菓子を提供し、大変喜ばれました。また、地域交流事業（あずま地区地域ふくし交流事業）で開催されていた作品展を見学しました。
カフェ	7月11日（月）・12日（火）に職員手作りのフレンチトーストと共に、好きなドリンクをメニュー表から選んでいただき提供しました。喫茶店の雰囲気、いつもと違うおやつが味わえました。

ミニ運動会	秋のスポーツシーズン10月11日（火）～13日（木）にレクリエーションの時間を使い、パン食い競争、玉入れ、新聞ホッケーの競技を行いました。また、パン食い競争では、日替わりで伊勢崎市内のパン屋のパンを用意し、おやつとして提供しました。
クリスマス会	12月21日（水）～23日（金） クリスマスプレゼントとして、お茶をプレゼントしました。また、おやつとして、ホットケーキミックスを使ったお菓子に、生クリーム、あんこ、果物や缶詰フルーツでデコレーションして、クリスマスの気分を味わっていただきました。
ひな祭り	3月3日（金）・4日（土）、さくら餅、ひなあられと甘酒を提供し、季節感を味わってもらいました。
イベント食	6月15日（水）・16日（木）、利用者からリクエストのあった焼きまんじゅうを焼いて利用者に提供しました。また、利用者から再度リクエストがあり、年度末の3月22日（水）・23日（木）・24日（金）にも実施しました。普段、外食できない利用者に大変喜ばれ好評でした。
ボランティア慰問	・4月11日（月）、生涯学習サークルの皆さんによるフラダンスを鑑賞しました。 ・4月25日（月）、プロ歌手による歌謡ショーを鑑賞しました。 ・9月9日（金）・11月24日（木）・3月31日（金）、元バスガイドのお2人によるバスの車窓の映像とガイドで、バス旅での小旅行の気分を味わいました。活動の様子はNHKの取材がありニュースでも放送されました。
個別機能訓練	毎日、利用者の機能の維持・向上を目的に、機能訓練指導員（看護師）が中心となり、各介護員と連携をとりつつ、入浴前後、昼食前後の時間に個別に下記のような訓練を行いました。 ・歩行訓練、筋力強化訓練、階段昇降訓練、滑車訓練、立ち上がり訓練、横歩き訓練、エアロバイク、握力強化訓練 ・塗り絵、計算問題、パズル、折り紙、ゴミ箱折り、集団レク等 ・軽体操、健康リズム体操
口腔ケア	口腔機能向上サービスを実施しました。利用者の口腔内の状態を把握するため、月2回歯科衛生士の診察を実施しました。治療が必要とされる利用者へ歯科衛生士に手紙を書いてもらい、受診して頂くよう促しました。また、昼食前に「お口の体操」、昼食後は歯磨き、口腔清拭、義歯洗浄、舌磨きを行い、口腔機能の向上を図りました。
消防訓練	令和4年9月26日（月）及び令和5年3月13日（月）に、みやまセンターと合同で消防訓練を実施しました。

② 磯沼荘デイサービスセンター

国・県・市による新型コロナウイルス感染症の基本方針等に基づき、感染拡大防止対策を講じ関係機関と十分連携を図り、事業を実施いたしました。

要支援者の受け入れを行うとともに、医療依存の高い利用者や、認知症重度者を受け入れ共存しながら本人らしく生活が送ることができるように、看護、介護のスタッフが連携し、利用者の生活リズムや健康状態を把握しながら、常に利用者の声に耳を傾ける事が出来る体制をつくりました。入浴、食事、機能訓練、口腔ケア等、利用者にあわせたサービスを提供することで、利用者が自信をもち、日常生活において通常欠かすことの出来ない基本動作（食事、排泄、入浴など）や、ADLの維持・向上につなげることが出来ました。また、家族との連携を図ることで、安心して利用していただくとともに、家族の介護負担も、大きく軽減する事が出来ました。

事業名	事業内容
お花見事業	桜の見学(磯沼) …施設内に咲く桜のお花見をしました。満開に咲く桜と一緒に写真撮影をしました。 小菊の里の見学…小菊の里まで歩いて行き、記念撮影をしました。
敬老会	9月19日(月)・9月20日(火) 磯沼荘ダイルーム 敬老の日のお祝いをしました。記念品として、手作りのキーホルダーと磯沼荘の近辺で咲く、お花の写真のしおりを贈りました。 職員の出し物の最中に、掛け声や、手拍子をしてくださり、利用者と職員も盛り上がりました。
運動会	10月12日(水)～10月14日(金) 磯沼荘ダイルーム 秋の大運動会を行いました。 競技種目は、綱渡し、パン食い競争、玉入れ、職員対抗の風船割りリレー。皆様、日頃の機能訓練の成果を発揮し、一生懸命に行いました。 おやつはパン食い競争のパンを召し上がりました。
磯沼荘祭り	11月16日(水)～18日(金) 磯沼荘ダイルーム ・16日…職員出し物(パブリカダンス、四羽の白鳥) くわまる君撮影会 ・17日…職員出し物(パブリカダンス、四羽の白鳥) くわまる君撮影会 ・18日…職員出し物(笠地藏、パブリカダンス、四羽の白鳥) 利用者と職員が一緒になって、祭りの準備を行いました。デイサービス内が笑い声で溢れ「とても良かった」「楽しかったよ」など利用者から声を掛けていただきました。職員及び利用者同士のコミュニケーションを図ることが出来ました。 記念品…リップクリーム(女性)、ハンドクリーム(男性)、くわまる君グッズ、BOXティッシュ、ネイルチケット、ペットボトルのお茶

お誕生日会	毎月、該当する利用者に、職員の手作りのプレゼントを渡し、皆様で、ケーキを食べて、お祝いの歌を歌いました。 誕生日会を行うことで、改めて自分の誕生日を思い出す姿が見られ、現実感(日付、曜日)の改善につながりました。
赤堀中学校吹奏楽部演奏会	11月23日(水)磯沼荘ダイルーム 赤堀中学校による演奏をリモート中継で鑑賞しました。初めてのリモートでの演奏でしたが、皆様大変喜ばれ、手拍子をうち喜ばれました。
クリスマス会	12月23日(金)・24日(土)磯沼荘ダイルーム 職員の出し物でハンドベルを演奏しました。おやつには、松ぼっくりに似立てた手作りケーキを召し上がりました。クリスマスプレゼントに靴下を贈りました。職員の演奏するクリスマスソングに合わせて全員で歌い、ケーキをクリスマスの気分を味わっていただきました。笑いも飛び交い、楽しい時間を一緒に過ごしました。
磯沼荘紅白歌合戦	12月27日(火)・28日(水)に紅白歌合戦を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、マスクを着用したままでしたが、皆様自慢の歌声を披露してくださいました。
節分の豆まき	2月2日(木)・2月3日(金)磯沼荘ダイルーム 皆様に新聞紙を丸めたこぶし大の豆を作成していただき、鬼に仮装した職員を目掛け、鬼を退治しました。催しごとを行う事で、笑顔が見られ季節感を感じることが出来ました。皆様、笑顔で参加され一年の無病息災を願いました。おやつには恵方巻にちなみ、ロールケーキと節分豆を煎じた豆茶をいただきました。
ADL体操教室	2月11日(土)磯沼荘ダイルーム ADL体操の講師をお招きして、皆様と体操をしました。皆様、生き生きとした表情で、講師の方の動きや掛け声を一生懸命に見て実践していました。
ひな祭り	3月2日(木) ひな祭りの特別メニューでちらし寿司を召し上がっていただきました。美味しいご飯を頂きながら、全員で祝いました。昔を思い出し、楽しかった記憶が蘇ったようで皆さんの生き生きとした表情が見られました。
フラダンス	3月17日(金)磯沼荘ダイルーム マヒナラニ・フラスタジオの皆様をお招きし、フラダンスを披露していただきました。コロナ禍で慰問の方をお招きする機会がなかったのですが、久しぶりのフラダンスに皆様目を輝かせ、一緒に踊ったり記念撮影をしたりと、楽しいひと時を過ごすことができました。

個別機能訓練	AM 9:30～11:30 PM 2:30～2:50、PM 3:30～PM 3:45 の時間帯で、利用者の身体機能の維持向上を目的として、実施しました。 <訓練内容> 集団体操、リズム体操、ラジオ体操、運動器具を使用した運動、起立訓練、歩行訓練、上肢、下肢、筋力維持向上トレーニング他 月4回、作業療法士が来所し、1日2名程度利用者様の状態確認、運動指導を行っていただきました。 個々に合ったペースで機能訓練を実施することが出来ました。運動をすることにより、ADL 動作の維持、向上に努められ、自立動作が継続できる様に頑張っている姿が見受けられました。
口腔機能訓練	毎日の支援、指導内容 ・食前の健康体操（嚥下体操、舌のトレーニング、唾液の分泌を良くするトレーニング） ・食後の口腔ケア（ブラッシング指導、磨き残しの確認、義歯の清掃、口腔内の異常の確認） ・月2回の歯科衛生士による、口の中の健康チェック、義歯洗浄、一生自分の歯で美味しく、楽しく安全な食生活を営むことが出来るとともに、口腔内の異常の早期発見、確認が行えました。在宅では、なかなか出来ない口腔清掃、感染予防、清潔保持、口腔ケアの習慣付けが徐々に出来つつあります。
避難訓練 (火災訓練)	・令和4年9月12日(月) 磯沼荘デイサービスセンター…職員9名、利用者16名 あかねの館…職員2名、利用者10名 ・令和5年3月9日(木) 磯沼荘デイサービスセンター…職員11名、利用者13名 あかねの館…職員2名、利用者7名 磯沼荘厨房ローレンジ付近からの出火を想定し、火災避難訓練ならびに、消火訓練を実施しました。

③ 利用者の要介護度（令和５年３月３１日現在）

（単位：人）

区分 事業所	性別	年度	要支援		要介護					計
			1	2	1	2	3	4	5	
あずま	男	R4	1	2	5	4	0	2	0	14
		R3	2	1	7	3	0	1	1	15
	女	R4	1	2	4	7	9	3	0	26
		R3	2	3	5	7	4	4	0	25
磯沼荘	男	R4	1	0	4	2	0	1	0	8
		R3	1	1	7	2	3	1	1	16
	女	R4	1	5	12	9	1	1	0	29
		R3	4	5	15	9	2	2	0	37
計	男	R4	2	2	9	6	0	3	0	22
		R3	3	2	14	5	3	2	2	31
	女	R4	2	7	16	16	10	4	0	55
		R3	6	8	20	16	6	6	0	62
総 計		R4	4	9	25	22	10	7	0	77
		R3	9	10	34	21	9	8	2	93

④ 利用者の年齢階層（令和５年３月３１日現在）

（単位：人）

区分 事業所	性別	69歳以下		70歳 ～74歳		75歳 ～79歳		80歳 ～84歳		85歳 ～89歳		90歳以上		計	
		R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3
あずま	男	5	5	1	3	0	1	4	4	2	1	2	1	14	15
	女	0	0	1	3	3	3	6	5	7	6	9	8	26	25
磯沼荘	男	0	1	0	0	2	2	1	6	1	2	4	5	8	16
	女	0	1	1	3	3	1	3	5	6	15	16	12	29	37
計	男	5	6	1	3	2	3	5	10	3	3	6	6	22	31
	女	0	1	2	6	6	4	9	10	13	21	25	20	55	62
総 計		5	7	3	9	8	7	14	20	16	24	31	26	77	93

⑤ 通所介護事業実績

区分 事業所	年度	年間 営業日	実利用 人 数	延利用 人 数	１日平均利用		
					送迎	機械入浴	一般入浴
あずま	R4	305 日	409 人	5,610 人	18.3 人	7.3 人	9.1 人
	R3	308 日	428 人	5,659 人	18.3 人	7.1 人	9.3 人
磯沼荘	R4	306 日	395 人	4,189 人	13.7 人	1.3 人	10.7 人
	R3	308 日	447 人	5,172 人	16.9 人	2.7 人	11.4 人
計	R4	611 日	804 人	9,799 人	32.0 人	8.6 人	19.8 人
	R3	616 日	875 人	10,831 人	35.2 人	9.8 人	20.7 人

⑥ 介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービス実績

区分 事業所	年度	事業実施 日 数	実利用 人 数	延利用 人 数	1 日平均利用		
					送迎	機械入浴	一般入浴
あずま	R4	263 日	75 人	509 人	1.9 人	0.0 人	1.7 人
	R3	221 日	72 人	485 人	2.2 人	0.0 人	1.9 人
磯沼荘	R4	305 日	112 人	813 人	2.7 人	0.0 人	2.4 人
	R3	308 日	113 人	807 人	2.6 人	0.0 人	2.2 人
計	R4	568 日	187 人	1,322 人	4.6 人	0.0 人	4.1 人
	R3	529 日	185 人	1,292 人	4.8 人	0.0 人	4.1 人

2. 障害者福祉サービス事業の実施

(1) 障害者総合支援事業

障害者総合支援法に基づき、支給決定（または認定）を受けた障害者（児）に対し、居宅において、入浴、排泄、食事等の身体介護や、調理、洗濯、掃除等の家事支援並びに生活等に関する相談助言、その他の生活全般にわたる援助を行うものであり、伊勢崎事業所で実施しました。

① 利用者の障害の区分（令和5年3月31日現在）（単位：人）

性別	区分 年度	身 体	重 度	知 的	精 神	児 童	計
男	R4	10	0	0	11	0	21
	R3	7	0	1	11	0	19
女	R4	4	0	2	18	0	24
	R3	7	0	4	21	0	32
計	R4	14	0	2	29	0	45
	R3	14	0	5	32	0	51

② 利用者の年齢階層(障害者)（令和5年3月31日現在）（単位：人）

性別	区分 年度	18 歳～29 歳	30 歳～49 歳	50 歳～64 歳	65 歳以上	計
男	R4	2	1	15	3	21
	R3	1	1	13	4	19
女	R4	2	10	10	2	24
	R3	3	17	10	2	32
計	R4	4	11	25	5	45
	R3	4	18	23	6	51

③ 障害福祉サービス提供実績

延訪問回数		延訪問時間		延利用者数	
R4 年度	R3 年度	R4 年度	R3 年度	R4 年度	R3 年度
4,850 回	5,358 回	5,840.1 時間	6,475.0 時間	587 人	633 人

(2) 地域生活支援事業

① 移動支援サービス

屋外での移動が困難な障害者等について、外出のための支援を行うことにより、地域における自立した生活及び社会参加を促すことを目的とする事業で、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のための外出時の移動を支援しました。

○移動支援サービス提供実績

延訪問回数		延訪問時間		延利用者数	
R4 年度	R3 年度	R4 年度	R3 年度	R4 年度	R3 年度
420 回	426 回	356.0 時間	381.5 時間	121 人	118 人

② 訪問入浴サービス

居宅での入浴が困難な障害者等に、身体の清潔の保持のため、介護保険による訪問入浴と同様のサービスを提供しました。

○訪問入浴サービス提供実績

延訪問回数		延利用者数	
R4 年度	R3 年度	R4 年度	R3 年度
416 回	402 回	48 人	49 人

3. その他

(1) 介護予防事業

開催を予定していた介護予防教室は新型コロナウイルス感染症流行のため、参加者、職員の感染予防、安全面を考慮し中止にしました。

(2) 研修支援事業（資格取得のための実習生受け入れ）

介護支援専門員実務研修受講試験の合格者の実習については、新型コロナウイルス感染症対策のため中止になりました。介護職等の資格を取得するために必要な実習の受け入れは、感染症予防を徹底して行い、介護事業に必要なマンパワーを育成することに寄与しました。また、教員免許取得希望者に対する社会福祉施設等における介護等体験を受け入れました。

① 介護支援専門員実務研修実習

事業所	依 頼 者	年度	実人数	実日数	延時間
伊勢崎	群馬県社会福祉協議会	R4	0 人	0 日	0 時間
		R3	0 人	0 日	0 時間
あずま	群馬県社会福祉協議会	R4	0 人	0 日	0 時間
		R3	0 人	0 日	0 時間
磯沼荘	群馬県社会福祉協議会	R4	0 人	0 日	0 時間
		R3	0 人	0 日	0 時間
合 計		R4	0 人	0 日	0 時間
		R3	0 人	0 日	0 時間

② 介護実習同行訪問

介護実習の付随訪問

事業所	依 頼 者	年度	実人数	実日数	延時間
伊勢崎	前橋医療福祉専門学校	R4	0 人	0 日	0 時間
		R3	0 人	0 日	0 時間
	太田医療技術専門学校	R4	0 人	0 日	0 時間
		R3	1 人	1 日	8 時間
合 計		R4	0 人	0 日	0 時間
		R3	1 人	1 日	8 時間

③ 教員免許取得希望者に対する介護等体験（通所介護）

事業所	依 頼 者	年度	実人数	実日数	延時間
あずま	群馬県社会福祉協議会	R4	0 人	0 日	0 時間
		R3	0 人	0 日	0 時間
磯沼荘	群馬県社会福祉協議会	R4	4 人	20 日	120 時間
		R3	4 人	20 日	120 時間
合 計		R4	4 人	20 日	120 時間
		R3	4 人	20 日	120 時間

（３）介護予防フェスタ

令和４年１１月６日（日）「認知症カフェ」の紹介を行いました。

□施設管理課

1. 指定管理施設の管理運営

(1) ふくしプラザ

高齢者及び障害者の健康の増進及び生涯学習の振興を図るとともに、社会参加を促進するため各種事業を実施しました。

I 年間入館者数

(単位：人)

使用場所	浴室・交流室、 トレーニングルーム		会議室、 セミナールーム	多目的ホール	ワークショップ その他	合 計
	無料 (うち障害者)	有料				
令和4年度	8,768 (420)	6	2,939	147	6,237	18,097
令和3年度	3,034 (33)	1	1,600	97	3,296	8,028

- ・年間開館日数 292日(前年度201日)
- ・開館時間 午前9時～午後10時
- ・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応
 - 4月1日～10月18日 開館(カラオケ休止)
 - 10月19日～3月31日 開館(カラオケ再開)

II 事業実施状況

利用者の増加を図るために実施した事業内容は次のとおりです。

事業名	内 容
第32回 健やか学級	午前9時30分～11時30分 5月9日～3月13日までの実施 実施回数19回、参加者延べ181名 文化財探訪・暮らしの中の法律等各教室講座や運動の実施、生きがい、健康、仲間づくりの講座を実施しました。
レクリエーション 軽スポーツ教室	第1～第4木曜日 午後1時30分～3時30分 新型コロナウイルス感染予防のため参加者の安全を最優先し、実施することができませんでした。

高齢者悩みごと相談	毎週木曜日 午前 10 時～午後 3 時（正午～午後 1 時の休憩時間は除く） 4 月 7 日～3 月 30 日までの実施 相談日数 47 日、相談件数 31 件 専門相談員 3 名により、高齢者悩みごと相談を新型コロナウイルス感染予防のため、電話相談のみ実施しました。
ふれあいサークル	毎週金曜日（第 5 週休み） 午後 1 時 30 分～3 時 30 分 新型コロナウイルス感染予防のため参加者の安全を最優先し、実施することができませんでした。
健康相談	毎月第 2・4 木曜日 午後 1 時 30 分～2 時 30 分 12 月 8 日～3 月 23 日間の実施 実施回数 7 回、参加者延べ 1 人 コロナ禍の影響で参加者が少なくなりましたが、市民に健康相談を実施しました。
生き生きセミナー	毎週水曜日 午前 10 時～正午 新型コロナウイルス感染予防のため、講師と参加者の安全を最優先し、実施することができませんでした。
趣味の時間 「やまぶき」	毎月第 1～4 水曜日 午後 1 時～3 時 新型コロナウイルス感染予防のため、講師と参加者の安全を最優先し、実施することができませんでした。
リハビリ事業 （訓練室開放）	毎週月曜日・水曜日・金曜日 午後 1 時～4 時 12 月 12 日～3 月 31 日間の実施 実施回数 38 回、参加者 0 人 病気やケガ、身体的機能が低下した方々を対象に、社会参加の促進と機能訓練の充実を図るために実施しましたが、参加者はありませんでした。
ふくしプラザ フェスティバル	9 月 3 日（土）・8 日（木）～12 日（月） 新型コロナウイルス感染予防のため、開催中止となりました。
はーとふる フェスティバル	12 月 3 日（土）・4 日（日） 新型コロナウイルス感染予防のため、開催中止となりました。
ふくしプラザ 芸能発表会	3 月 5 日（日） 新型コロナウイルス感染予防のため、開催中止となりました。

高齢者健康講座 (社交ダンス)	前期講座 5 月 9 日～8 月 1 日 午後 1 時 30 分～3 時 30 分 後期講座 10 月 17 日～2 月 20 日 午後 1 時 30 分～3 時 30 分 新型コロナウイルス感染予防のため、講師と参加者の安全を最優先し、実施できませんでした。
--------------------	--

○実習生の受け入れ

伊勢崎敬愛看護学院

看護学生から新型コロナウイルス陽性者や濃厚接触者が出たことから、館内利用者の安全を最優先と考え、受け入れを中止としました。

(2) ふれあいセンター

高齢者の心身の健康の保持を図るとともに、市民の憩いの場を提供し、世代間の交流を促進するため、指定管理者制度によるふれあいセンターの管理・運営を行いました。

I 年間入館者数 (単位：人)

入館者別	本市住民				本市住民以外			計
	無料	大人	小人	計	大人	小人	計	
令和 4 年度	25,857	501	7	26,365	71	3	74	26,439
令和 3 年度	7,611	69	2	7,682	4	0	4	7,686

- ・年間開所日数 295 日 (前年度 208 日)
- ・開所時間 午前 9 時～午後 4 時
- ・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応
 - 4 月 1 日～ 10 月 23 日 開館 (カラオケ休止)
 - 10 月 24 日～3 月 31 日 開館 (カラオケ再開)

II 行事实施状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

事業名	内容
ふれあいミニ図書コーナー	本館談話コーナーに書棚を設置し、利用者が気軽に読書を楽しめるようにしました。
地域交流事業 (七夕まつり)	地域の利用者と七夕飾り作製や、展示をし、交流を深めました。
消防講演会	消防署と 3 月 1 日に、高齢者を対象に火災報知器設置の重要性を伝える等の講演を、玄関前で実施しました。尚、当日の参加者は 23 人程でした。

(3) 老人いこいの家

地域の高齢者を対象に、入浴やレクリエーション等の場の提供と、教養の向上を図るための事業を実施するとともに、地域の関係団体の活動支援を通して高齢者の心身の健康の保持・増進を図りました。

I 年間入館者数

	入 館 者 数 (人)
令和4年度	8,072
令和3年度	2,871

- ・年間開所日数 283日（前年度191日）
- ・開所時間 午前9時～午後4時
- ・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応

II 利用状況

- ・地域の様々な支援団体が活動を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防のため中止となりました

III 消防総合訓練

新型コロナウイルス感染症予防のため中止（消防用設備等点検のみ）

IV その他

施設の老朽化や耐震性に問題があることから、令和5年3月31日をもって廃止となりました。

(4) みやまセンター

みやまセンターは、地域に密着した老人福祉施設としてデイサービス事業も提供する複合施設です。

当センターでは、男女浴室をはじめ大集会室・教養娯楽室・相談室を有し、カラオケ設備も整っており無料の湯茶を設置して、仲間とのふれあいやレクリエーション等により、明るく健康な日々を過ごしていただく「生きがいくくり」の施設です。

I 年間入館者数

(単位：人)

入館者別	本市住民				本市住民以外			合計
	無料	大人	小人	計	大人	小人	計	
令和4年度	12,078	187	19	12,284	63	2	65	12,349
令和3年度	4,659	34	0	4,693	1	0	1	4,694

- ・年間開所日数 292日（前年度201日）
- ・開所時間 午前9時～午後4時
- ・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応
 - 4月1日～10月18日 開館（カラオケ休止）
 - 10月19日～3月31日 開館（カラオケ再開）

II 行事实施状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

行 事 名	内 容
入館者感謝祭	新型コロナウイルス感染症予防のため開催中止となりました。
カラオケ発表会	新型コロナウイルス感染症予防のため開催中止となりました。
地域交流事業 (あずま地区地域 ふくし交流事業)	9月10日(土)～20日(火) 地域の皆様の交流を深めることを目的に、あずま支所・あずま事業所・みやまセンター・高齢者生きがいセンターとの共催により、あずま地区の関係団体の皆様にご協力を頂き作品展を実施しました。
消防訓練	・1回目 9月26日(月) ・2回目 3月13日(月) 入館者・デイサービス利用者・職員による総合訓練を実施しました。
初湯祭り	新型コロナウイルス感染症予防のため開催中止となりました。

(5) 高齢者生きがいセンター

高齢者生きがいセンターは、各福祉団体等の活動の拠点となっています。

高齢化社会を迎えた現在、介護予防として高齢者団体・民生委員・ボランティア等各種団体と連携し地域ネットワーク作りを通して多くの事業を行っています。

特に介護予防のための高齢者向けクラブ活動の推進や子育てサロンで未来を担う子供たちの健全育成の場として、最大限に活用している施設です。

I 年間利用者数

	利用回数	利用者数
令和4年度	123	2,101
令和3年度	62	822

- ・年間開所日数 292日(前年度201日)
- ・開所時間 午前9時～午後9時
- ・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応

II 行事实施状況

生きがいセンターの施設を社会福祉協議会の自主事業や他団体の活動に利用しました。

- ・高齢者いきいき講座事業
- ・ボランティア活動事業(養成講座、ボランティアの会、傾聴ボランティアほか)
- ・子育てサロン事業
- ・心配ごと相談事業
- ・地区社会福祉協議会事業
- ・民生委員活動に関する事業
- ・老人クラブ連合会事業
- ・ふれあい昼食会(ひとり暮らし老人)
- ・その他 各福祉団体の総会、役員会、会議など

○消防訓練：9月26日(月)・3月13日(月) 消防訓練実施計画により消防訓練を実施。

(6) 境地域福祉センター

地域の福祉活動の拠点として、会議室等の貸出管理をはじめ、多くの関係団体との連携や住民の協力を得て、新型コロナウイルス感染予防を徹底した上で、様々な事業を展開し、高齢者及び障害者に対する各種サービスの提供や各種福祉団体の育成及び各種福祉情報の提供等を総合的に行之、福祉課題への対応、市民の福祉増進及び福祉意識の高揚を図りました。

I 年間入館者数

(単位：人)

入館者別	利用団体数	利用者数	夜間 開所日数	夜間 利用団体数	夜間 利用者数
令和4年度	471	7,096	1	1	10
令和3年度	293	4,097	0	0	0

- ・年間開所日数 321日（前年度220日）
- ・開所時間 午前9時～午後9時
- ・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応

II 事業実施状況

事業名	内容
トレーニングルームの開放と大型レクリエーション用具の貸出	通年 設置されたトレーニング器具の利用促進と使用方法の説明・指導。 大型レクリエーション用具の貸出管理 (新型コロナウイルス対策の影響により利用結果は低調)
地域交流事業	屋内レクリエーションスポーツとしてボッチャボールセットを貸し出し、地域の方々の交流の場を設け、集いの場としていただくことにより事業充実と施設の利用拡大を図りました。

境地域福祉センターの施設を社会福祉協議会の自主事業や他団体の活動に利用しました。

- ・ボランティア活動事業（ボランティアの会、傾聴ボランティアほか）
- ・心配ごと相談事業
- ・地区社会福祉協議会事業
- ・民生委員活動に関する事業
- ・老人クラブ連合会事業
- ・その他 各福祉団体の総会、役員会、会議など

以下の事業については、新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

- ・高齢者いきいき講座事業
- ・子育てサロン事業

○消防訓練：8月3日（水）・2月20日（月）消防訓練実施計画により消防訓練を実施。

(7) 境社会福祉センター

当館は、住民の福祉増進と文化の向上を目的とし、主に高齢者を対象としたカラオケ設備を整えた共同入浴施設です。

年度事業では、菖蒲湯、柚子湯、ハーブ湯、カラオケ発表会、作品展示会等を企画するとともに、年間を通じ玄関先を花で飾るなど季節感を取り入れ、利用者が楽しく、快適に過ごせる施設づくりに取り組みました。

I 年間入館者数

(単位：人)

入館者別	本市住民				本市住民以外			計
	無料	大人	小人	計	大人	小人	計	
令和4年度	14,238	44	1	14,283	5	0	5	14,288
令和3年度	5,065	35	0	5,100	1	0	1	5,101

- ・年間開所日数 293日（前年度201日）
- ・開所時間 午前9時～午後4時
- ・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応
 - 4月1日～10月19日 開館（カラオケ休止）
 - 10月20日～3月31日 開館（カラオケ再開）

II 行事実施状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

行 事 名	内 容
菖蒲湯・ハーブ湯 ・柚子湯等の提供	季節ごとの菖蒲、ハーブ、柚子を入れた風呂の提供は、新型コロナ感染予防のため中止しましたが、毎月26日（風呂の日）に柚子やラベンダーなどの入浴剤入りの風呂を提供し、入浴を楽しんでいただきました。
カラオケ発表会	カラオケ発表会を予定していましたが、コロナ感染症予防のため中止しました。
利用者の作品展示会	センター利用者が作成した作品を、廊下の壁面を利用あるいはテーブルを配置して展示を行う予定でしたが、コロナ感染予防のため中止しました。例年は書道展、写真展、手芸作品展、折り紙展などを実施しています。
こいのぼり飾り	ロビーにこいのぼりを飾り付けました。 (4月7日～5月5日)
七夕飾り	センター利用者の願いを書いた短冊や、手作りの飾り物を結わい付けた竹飾りを玄関先に飾り付ける予定でしたが、コロナ感染予防のため中止しました。

クリスマス飾り	舞台にクリスマスツリーなどを飾り付けました。 (12月1日～25日)
正月飾り	新年を祝い、ロビーに正月らしい飾り付けをしました。 (1月5日～15日)
雛飾り	ロビーに雛人形などを飾り付けました。 (2月13日～3月3日)
玄関先を花で飾る	利用者の気持ちが明るくなってもらえるように、職員が四季折々の花をプランターに植栽し、玄関先に飾りました。
地域交流事業	当センターに隣接する障害福祉サービス事業所「くわのみ」の利用者の方々に、絵、書道、手芸など多種の作品を製作していただき、館内に展示いたしました。作品のすばらしい出来栄えにセンター利用者から好評を博し、障害者施設へのご理解と、展示品と一緒に鑑賞することにより来館者相互の交流を図ることができました。 (2月10日～16日)

(8) 児童センター

児童に健全な遊びの場を提供することにより、児童の健康を増進し、情操を豊かにするため、児童センターの管理運営を行いました。

I 年間利用者数

(単位：人)

利用者別 年度	幼児	小学生		中学生	高校生	一般	合計
		1～3年	4～6年				
令和4年度	12,034	2,564	1,909	709	97	13,396	30,709
令和3年度	5,617	836	462	103	40	6,845	13,903

- ・年間開所日数 293日(前年度201日)
- ・開所時間 午前9時30分～午後6時
- ・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応

II 行事实施状況

利用者の増加を図るため実施した行事内容は次のとおりです。

行事名	内容
児童館事業 土日開催事業	手形スタンプ・クリスマスビンゴ・お正月遊び他13事業 合計 222人 人形劇 64人 おもちゃの病院 31件

科学館事業	プラネタリウム投影 春夏秋冬番組 観覧者数 1,019 人
子育て支援事業	ドレミタイム 全38回 644人 子育て支援 全10回 168人 読み聞かせ 全9回 154人 ベビーマッサージ 全6回 98人 かずさんと遊ぼう 全3回 60人 キッズヨガ 全1回 21人 ハワイアンリトミック 全1回 20人 親子クラブ（年通事業） 年39回開催 12組参加
地域交流事業	焼きまんじゅう 176人
その他の事業	こどもの国リモートフェスティバル 全2回 64人 こどもの日行事 18人
消防訓練	職員及び来館者を対象に実施しました。 1回目 参加者 30人（親子クラブ・来館者・職員） 2回目 参加者 42人（親子クラブ・来館者・職員）

（９）境児童センター

「子どもたち」やその子どもを育てる親、そして、親子を見守る地域を視野に入れ、児童に健全な遊びの場を提供し、豊かな心を育てる場所となり、児童福祉の推進の強化と子育て支援活動の充実・利用者の利便性の向上と地域拠点施設として適正な事業を図りました。

I 年間利用者数

（単位：人）

利用者別 年度	幼児	小学生		中学生	高校生	一般	合計
		1～3年	4～6年				
令和4年度	4,525	851	850	191	21	3,830	10,268
令和3年度	2,628	314	191	98	6	2,159	5,396

- ・年間開所日数 293日（前年度201日）
- ・開所時間 午前9時30分～午後6時
- ・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応

II 行事实施状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

行 事 名	内 容
子供の日行事	My マグカップづくり、わなげ大会を実施しました。 参加者 54 名

観劇会	劇団「風の子」による「とんからり」を上演しました。 参加者 8 組 35 名
地域交流事業	「地域交流花壇づくり」として地元区長はじめ地域住民の参加を得て チューリップ球根を植えました。 参加者 37 名
秋季イベント	境児童センターまつりの代替事業として「遊びのスタンプラリー」を 実施しました。 参加者 42 名
ぬりえ大会	春休み（16 日間）、夏休み（16 日間）募集し、期間終了後約 2 週間程 度の期間に館内展示しました 延べ参加者 194 名
土日の一般事業	手形をとろう、シャボン玉遊び、紙を使って遊ぼう ほか 12 行事を 実施しました。 実施回数 16 回、延べ参加者 76 組 173 名
ベビーヨガ講座	実施回数 2 回、参加者 10 組 20 名
ベビーマッサージ 講座	実施回数 1 回、参加者 6 組 12 名
まめっこ広場	ふれあい遊び、カスタネット作り ほか 5 行事を実施しました。 実施回数 16 回、延べ参加者 77 組 157 名
よちよち広場	読み聞かせ、ボール&ダンボール遊び ほか 2 行事を実施しました。 実施回数 10 回、延べ参加者 53 組 109 名
こどもの国リモー トフェスティバル	わなげ作り、とうめいヨーヨー作りを実施しました。 実施回数 4 回、延べ参加者 16 組 33 名
消防訓練	職員及び来館者を対象に実施しました。 実施回数 1 回、参加者 19 人

(10) 赤堀児童館

未就学児童とその保護者を対象に行っている子育て支援と「放課後児童クラブ」の管理運営を行っています。また、地域の小学生を対象にした「わくわくサタデー」などの工作体験や文化体験事業を行い、地域に根を下ろした児童館活動を実施しました。

I 年間利用者数

(単位:人)

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3年	4～6年				
令和4年度	1,175	13,201	232	628	62	3	982	16,283
令和3年度	555	14,927	240	388	56	7	493	16,666

- ・年間開所日数 294日(前年度293日)
- ・開所時間 午前9時30分～午後6時
(放課後児童クラブについては放課後～午後7時、学校休業日は午前8時～午後7時)
- ・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応
4月1日～4月6日 児童館機能は平日の午前中のみ開館
放課後児童クラブは通常通り開所

II 行事实施状況

利用者の増加を図るため実施した行事内容は次のとおりです

行 事 名	内 容
あそびの教室 毎月第2・4水曜日	5月25日(水)～年間13回実施 「お買い物ごっこ」他 延べ参加者:292人(幼児と保護者)
わくわくサタデー 月1回 土曜日	4月16日(土)～年間11回実施 「アロマ消臭剤づくり」他 延べ参加者:139人(小学生)
おはなしニコニコ 毎月第1・3金曜日	4月15日(金)～年間15回実施 サリーちゃん・パネルシアター・紙芝居他 延べ参加者:111人
放課後児童クラブ行事 ・月1回誕生会 ・月1～2回の遊び ・季節毎の壁面作り	4月8日～年間34回実施 誕生日会・宝さがし遊び他 延べ参加者:1,777人 季節の壁面作り 年間5回実施 延べ参加者:200人
読み聞かせ 毎月第2・4木曜日	4月1日～年間8回実施 絵本の読み聞かせ他 延べ参加者:151人

ベビーマッサージ 教室	5月18日（水）～年間5回実施 ベビーマッサージ 延べ参加者：44人 定員5組
防犯訓練 防火防災訓練	・7月21日（木）伊勢崎警察署指導による防犯教室及び不審者 避難訓練 参加者：72人（児童・職員） ・10月21日（金）赤堀消防署指導による避難消火訓練 参加者68人（児童・職員）

(11) 赤堀南児童館

未就学児とその保護者が対象の子育て支援事業と小学校の児童が対象の放課後児童クラブ事業を行いました。また、学校や地域の人々と連携を図り、地域に根を下ろした児童館活動を行いました。

I 年間利用者数

（単位：人）

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3年	4～6年				
令和4年度	643	18,021	172	283	11	1	628	19,759
令和3年度	541	15,998	92	31	0	0	483	17,145

- ・年間開所日数 294日（前年度293日）
- ・開所時間 午前9時30分～午後6時
（放課後児童クラブについては放課後～午後7時、学校休業日は午前8時～午後7時）
- ・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応
4月1日～4月6日 児童館機能は平日の午前中のみ開館
放課後児童クラブは通常通り開所

II 行事実施状況

利用者の増加を図るため実施した行事内容は次のとおりです。

行 事 名	内 容
あそびの教室 毎月第2・4火曜日	4月9日（土）～年間16回実施 七夕飾りづくり他 延べ参加者241人
わくわくサタデー 月1回 土曜日	4月23日（土）～年間12回実施 プラバンづくり他 延べ参加者159人
赤ちゃんいらっしやい！ 毎月第1・3木曜日	4月21日（木）～年間15回実施 わらべ唄あそび、ママリズム他 延べ参加者146人

放課後児童クラブ行事 月 1 回 誕生会 月 1～3 回 遊び行事 あそびの月間	4 月 8 日（金）～年間 3 1 回実施 はじめましての会他 延べ参加者 3, 4 5 1 人 あそびの月間 1 0 回実施 延べ参加者 1, 2 9 0 人
おはなしタイム 毎週土曜日	4 月 2 日（土）～年間 5 0 回実施 なぞなぞ、紙芝居、絵本、他 延べ参加者 3 2 9 人
消防等避難訓練 年 3 回	5 月 2 5 日（水） 避難訓練 [地震から火災] 6 月 2 3 日（木） 防犯訓練 [不審者] 1 0 月 1 3 日（木） 総合訓練 [地震から火災]

(12) 赤堀あさひ児童館

未就学児童とその保護者を対象に行っている子育て支援事業と「放課後児童クラブ」の管理運営事業を行なっています。また、一般の人々を対象にした遊びの紹介や工作教室などの文化体験事業、学校や地域と連携し地域に根を下ろした児童館活動を行いました。

I 年間利用者数

(単位:人)

利用者別	幼児	小 学 生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3 年	4～6 年				
令和 4 年度	477	15, 543	80	106	20	2	711	16, 939
令和 3 年度	303	16, 297	50	53	10	1	494	17, 208

- ・年間開所日数 2 9 4 日（前年度 2 9 3 日）
- ・開所時間 午前 9 時 3 0 分～午後 6 時
（放課後児童クラブについては放課後～午後 7 時、学校休業日は午前 8 時～午後 7 時）
- ・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応
4 月 1 日～4 月 6 日 児童館機能は平日の午前中のみ開館
放課後児童クラブは通常通り開所

II 行事実施状況

利用者の増加を図るため実施した行事内容は次のとおりです。

行 事 名	内 容
あそびの教室 毎月第 3 水曜日	5 月 1 8 日(水) ～年間 1 0 回予定し 1 0 回実施しました。 おきあがりこぼし作りやハロウィン、リズム遊び、クリスマス会などを実施、コロナ対策により人数制限(定員制)をし事前予約制 延べ参加者 8 4 人
わくわくサタデー 毎月第 2 土曜日	5 月 1 4 日（土）～年間 8 回予定し 8 回実施しました。 びっくり箱やスノードーム、バスボム(固形入浴剤)作りなどを実施、コロナ対策により人数制限(定員制)をし事前予約制 延べ参加者 7 0 人

ぴこぴこルーム 毎月 第1・3月曜日	4月18日(月)～年間20回予定し14回実施しました。 手遊び・絵本・紙芝居の読み聞かせ コロナ対策により人数制限(定員制) 延べ参加者 81人
ぴこぴこたいそう 毎月 第2・4木曜日	4月28日(木)～年間20回予定し12回実施しました。 ふれあい遊びや体操をする コロナ対策により人数制限(定員制) 延べ参加者 56人
子育て支援 ぺったんてがた 隔月 金曜日	4月22日(金)～年間4回予定し3回実施しました。 成長記念に手や足の手形を台紙にとる 延べ参加者 37人
放課後児童クラブ行事 月1回 誕生会 年5回 サッカー 月2回 わんぱく製作・あそび他	4月20日(水)～年間46回予定し50回実施しました。 はらぺこあおむし、母の日カーネーション、七夕飾り、アロマ消臭剤づくり、リバーシ大会、うちわ作り、逃走中(屋外集団遊び)や季節行事など 延べ参加者 2,711人
放課後児童読み聞かせ(おはなしパーク) 毎月 第1・3火曜日	4月19日(火)～年間20回予定し13回実施しました。 絵本の読み聞かせ・紙芝居 延べ参加者 327人
地震・不審者・火災等避難訓練 年3回予定	6月28日(火) 地震避難訓練 参加者69人 7月28日(木) 不審者侵入・防犯訓練 参加者57人 11月22日(火) 総合消防訓練 参加者69人

(13) きく児童館

児童に健全な遊びの場を提供することにより、児童の健康増進と情操豊かな心を身に付けました。また、子育て支援の拠点となる場を提供するとともに、放課後児童クラブの管理運営を行いました。

I 年間利用者数

(単位:人)

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3年	4～6年				
令和4年度	434	14,291	111	108	13	0	419	15,376
令和3年度	297	11,155	94	232	4	2	297	12,081

- ・年間開所日数 294日(前年度293日)
- ・開所時間 午前9時30分～午後6時
(放課後児童クラブについては放課後～午後7時、学校休業日は午前8時～午後7時)
- ・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応

4月1日～4月6日 児童館機能は平日の午前中のみ開館
放課後児童クラブは通常通り開所

II 行事实施状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

行 事 名	内 容
児童館事業 プラバン作り	4月22日（金） プラスチック板を使ってオリジナルキーホルダーを作って楽しむことができました。 参加者 63人
児童クラブ事業 ラベンダースティック作り	6月29日（水） ラベンダーの花を編み込んでスティックを作り、花の香りや置物として楽しむことができました。 参加者 5人
子育て支援事業 リトミック	7月11日（月） 外部講師を招いて、乳幼児とその保護者でリズムに合わせて身体を動かすなど、親子のスキンシップを図ることができました。 参加者 10人（5組の親子）
児童館事業 風鈴作り	8月 1日（月） ゼリーカップを再利用することで風鈴として楽しむことができました。 参加者 16人
児童クラブ事業 カプラを楽しむ	10月20日（木） ぐんまこどもの国職員からカプラ歴史を学び、班別にカプラを自由に積み上げ造形を楽しむことができました。 参加者 62人
児童館事業 どんぐり笛作り	10月11日（火）～14日（金） どんぐりの中身を削って笛を作った。時間と根気が必要で、子ども同士が協力しながら作ることができました。 参加者 27人
子育て支援事業 クリスマス会	12月12日（月） 外部講師を招いて、リズムに合わせて身体を動かし寒さを吹き飛ばすことができた。最後に、サンタクロースからプレゼントをもらって1日を楽しむことができました。 参加者 18人（9組の親子）
地域交流事業 （児童クラブ事業 クリスマス会）	12月15日（木） 放課後児童クラブの児童が中心となり、司会進行から楽器演奏等行っ て開催することができました。また、外部講師を招いて参加者が楽し いひと時を過ごすことができました。 参加者 83人

児童館事業 しめ縄作り	12月23日(金) 紙ひもで作ったしめ縄をワイヤーで形づくり、思い思いの飾りつけをしてかわいいしめ縄を作り楽しむことができました。 参加者 10人
児童クラブ事業 上毛かるた大会	1月10日(火) 群馬県の伝統的な「上毛かるた」を学ぶとともに、順位を競って楽しむことができました。 参加者 52人
子育て支援事業 リトミック	2月13日(月) おんぶしたり抱っこしたりと親子で楽しい1日を過ごすことができました。 参加者 16人
その他事業 透明ヨーヨー作り	3月10日(金) 【ぐんまこどもの国リモートフェスティバル】 クリアファイルを再利用して透明なヨーヨーを作り楽しむことができました。 参加者 41人
避難訓練(地震・火災) 不審者訓練	地震(2回) 7月14日=45名 11月29日=30名 火災(2回) 9月26日=72名 2月7日=38名 不審者(1回) 5月18日=53名

以上の行事の他に児童館行事として、毎週月曜日「おはなしきしゃぼんぼ」、毎週水曜日「おはなしのへや」を計画しましたが、コロナの感染状況で一部中止としました。また、児童クラブ行事として、「こま・まり・あやとり検定」「マンカラ大会」などを計画し実施しました。

(14) さざんか児童館

児童に健全な遊びの場を提供することにより、児童の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として、児童館の管理運営を行いました。放課後児童クラブ及び育児サークルの活動の支援を行いました。

I 年間利用者数

(単位:人)

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3年	4～6年				
令和4年度	405	17,939	130	184	2	28	410	19,098
令和3年度	240	17,827	89	101	2	1	253	18,513

- ・年間開所日数 294日(前年度293日)
- ・開所時間 午前9時30分～午後6時
(放課後児童クラブについては放課後～午後7時、学校休業日は午前8時～午後7時)
- ・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応
4月1日～4月6日 児童館機能は平日の午前中のみ開館
放課後児童クラブは通常通り開所

Ⅱ 行事实施状況

利用者の増加を図るため実施した主な行事内容は、次のとおりです。

行 事 名	内 容
児童クラブ事業 探検ツアー	4月5日（火） 放課後児童クラブ利用児が通学路や児童館周辺を散策しました。 参加者 71名
児童館事業 どろだんご週間	5月9日（月）～13日（金） 泥だんご週間を設け、泥だんごを子どもたちが作りました。 参加者 90名
児童館事業 チャレンジサタデー 「マイベーゴマをつくろう」	6月11日（土） ベーゴマにデコレーションを行い自分だけのオリジナルベーゴマづくりをしました。 参加者 11名
児童館事業 七夕飾りづくり	6月23日（木）～28日（火） 帰館後～17：00 参加者 91名
児童館事業 チャレンジサタデー 「くるくるレインボーをつくろう」	7月9日（土） オーロラテープや竹ひごを使ってつくりました。 参加者 14名
児童クラブ事業 プラバンづくり「マイ・キーホルダーをつくろう」	9月13日（火）～16日（金） プラバンづくりを行いました。 参加者 81名
児童館事業 マンカラ大会	10月3日（月）～7日（金） マンカラ大会を行いました。 参加者 94名
児童クラブ事業 お正月あそび	1月10日（火） 巨大かるた、だるま落とし、巨大福笑いなど新春にふさわしい遊びを行いました。 参加者 74名
児童館事業 あそびの検定 表彰式	2月6日（月）～10日（金） 13日（月）表彰式 参加者 91名

以上の他に、イースターのたまごを見つけよう、おはなしゆりかごスペシャルなどを行いました。

(15) あやめ児童館事業

児童に健全な遊びの場を提供し、児童の健康増進と情操を豊かにすることや、幼児を持つ母親たちの情報交流等の場としての充実を図るなど、子育て支援を実施し、また、放課後児童クラブの運営を行いました。

I 年間利用者数

(単位:人)

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3年	4～6年				
令和4年度	648	14,070	213	237	32	5	662	15,867
令和3年度	477	14,065	120	77	65	22	497	15,323

- ・年間開所日数 294日(前年度293日)
- ・開所時間 午前9時30分～午後6時
(放課後児童クラブについては放課後～午後7時、学校休業日は午前8時～午後7時)
- ・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応
 - ・4月1日(金)～4月6日(水)
児童館機能は平日の午前中のみ開館
放課後児童クラブは通常通り開所

II 行事实施状況

- ・利用者の増加を図るため実施した行事内容は次のとおりです。

行 事 名	内 容
児童クラブ事業 児童館内探検 (1年生)	4月1日(金) 新1年生のクラブ員に、あやめ児童館内外を紹介しルールや使い方を説明しました。 参加者 22名
児童クラブ事業 対面式	4月18日(月) 新1年生と継続児の顔合わせの会で、児童館の遊びを、上級生が、紹介実演し、交流を深めました。 参加者 69名
避難訓練	4月27日(水)1回目 10月26日(水)2回目 災害が発生しても速やかに安全な場所に避難できるように実施しました。 参加者 4月27日(水)72名 10月26日(水)47名
児童館事業 アートバルーン作り	5月5日(木) 風船で色々な動物を作り楽しみました。 参加者 8名

児童館事業 ポケット SP 親子リズム	6月21日（火） 乳幼児と保護者が一緒にリズムに合わせて身体を動かし楽しみました。 参加者 7組
児童館事業 けん玉教室	7月9日（土） 昔遊びのけん玉の伝承の場として、講師を招き華麗な演技を楽しみました。 参加者 16名
児童館事業 栗崎さんと ベーゴマ大会	9月24日（土） 昔遊びのベーゴマの伝承の場として、講師を招き華麗な演技を楽しみました。 参加者 17名
児童館事業 リトミック教室	10月14日（金） 音楽を通じて身体を動かしての楽しみました。 参加者 26名
児童館事業 （育児支援事業） 羊毛つんつん	10月19日（水） 羊毛フェルトでアクセサリーを作り楽しみました。 参加者 5名
児童館事業 チアダンス	11月5日（土） 音楽に合わせてポンポンを持って踊りました。 参加者 14名
地域交流事業 （児童クラブ事業 クリスマス会）	12月23日（金） 子ども達によるハンドベルの演奏やマジックショー行いました。 参加者 66名
児童館事業 しめ縄作り	12月27日（火） お正月飾りのしめ縄を作りました。 参加者 7名
児童クラブ事業 かるた大会	1月5日（木） 上毛かるた大会を行いました。 参加者 37名
児童館事業 ウクレレ教室	1月28日（土） ウクレレの演奏を体験しました。 参加者 10名
児童館事業 おはなしレストラン SP 真弓さんの紙芝居	2月9日（木） 日本の伝統文化である紙芝居を鑑賞しました。 参加者 20名
児童館事業 春のお茶会	3月4日（土） 日本の伝統文化である茶道を体験しました。 参加者 10名

児童クラブ事業 みんなでワイワイ	3月24日（金） 子どもたちが楽しく交流できるゲーム大会と、職員と3年生以上の児童との合唱の発表。また子ども達の手作り文集を配布しました。 参加者 45名
---------------------	---

以上の行事の他に、児童クラブ事業として、水遊び、お化け屋敷、カプラ大会等を計画しましたが、新型コロナウイルスの感染症拡大防止の観点から実施することができませんでした。なお実施した事業については、人数制限及び時間短縮をするなど感染症対策を図りました。

2. 社会福祉会館の管理

社会福祉協議会総務企画課、地域福祉推進課、在宅福祉課、施設管理課が事務所を置き、地域福祉の増進、介護保険事業、ボランティア活動の増進、心配ごと・結婚相談事業、福祉団体の活動援助等の機能が十分に発揮されるよう運営しました。

また、会館内に伊勢崎歯科医師会、伊勢崎市薬剤師会の2団体が入居しているほか、以下の通り会議室の使用がありました。

○会議室使用状況

（単位：人）

	4階第1会議室 利用者数	4階第2会議室 利用者数	4階第3会議室 利用者数	合計
令和4年度	3,193	271	729	4,193
令和3年度	2,895	0	552	3,447

